

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

EVIDENTIARY DOCUMENT NUMBER 1601

TITLE: "A Collection of Thought Control Police Regulations."

Table of Contents

SOURCE: Home Ministry

MICROFILMING

Document 1601 Source: Home Ministry
~~has~~ been microfilmed on 21 Oct 1948 for
permanent historical record.

(None) (Part) of this document had been extracted for court use.

F. MATTISON
Files Unit
Document Division

No.

14/M
SA 15037

極
祕

特
高
警
察
例
規
集

521

Ex # 1601

Proj. No.	149
S. A. No.	15037
Sack No.	4
Item No.	521

內務省警保局保安課

特
高
警
察
例
規
集

內務省警保局保安課

1601

No.155

極秘

特高警察例規集

久井事務官

内務省警保局保安課

第一編 特別要視察人視察內規

寫

內務省訓第三四一號

應 府 縣

(東京府ヲ除ク)

昭和十年五月十五日內務省訓第五六九號特別要視察人視察內規中左ノ通改正ス
右訓令ス

昭和十四年四月二十四日

內務大臣

昭十四(左記省略)

內務省訓第三四一號

寫

寫

内務省發警第三七號

昭和十四年五月二日

内務省警保局長

警視總監 宛
各廳府縣長官

(東京府知事ヲ除ク)

改正特別要視察人視察内規施行ニ關スル件依命通牒

今回昭和十四年四月二十四日内務省訓第三四一號ヲ以テ特別要視察人視察内規改正相成候ニ付テハ之ガ施行ニ關シテハ左記ノ如ク御取扱相成度
追テ右内規ハ別ニ印刷ノ上送付ノ見込ニ有之

記

一、内規第四條ニ依リ各廳府縣ニ於テ調製スル特別要視察人略式名簿ハ共、社、
無、他、鮮、臺ノ種別毎ニ別冊トシ甲乙ノ別ニ口取リヲ附シ、且ツ「イロハ」順ニ編

綴スルコト

二、特別要視察人略式名簿ハ今後ノ新規編入ヨリ調製シ現在保存スル名簿謄本ハ
其ノ儘之ニ利用スルコト

三、第二號様式「乙號特別要視察人名簿」ノ用紙ハ本省ヨリ送附ノ見込ニ付豫メ必
要部數ヲ申報スルコト

四、特別要視察人ノ編入替、削除又ハ新規編入ヲ要スル者アルトキハ此ノ際特ニ
整理スルコト

特別要視察人視察内規 目次

- 特別要視察人ノ種別……………第一條
- 特別要視察人名簿……………第二條乃至第十二條
- 特別要視察人ノ視察取締……………第十三條乃至第十八條
- 渡來朝鮮人(臺灣人)……………第十九條
- 尾 行……………第二十條乃至第二十九條
- 寫眞、筆蹟……………第三十條、第三十一條
- 指 紋……………第三十二條、第三十三條
- 爆發物、戎器其ノ他危險物……………第三十四條、第三十五條

各種樣式

- 第一號樣式 甲號特別要視察人名簿……………一五頁
- 第二號樣式 乙號特別要視察人名簿……………二一頁
- 第三號樣式 特別要視察人略式名簿……………二三頁
- 第一編 特別要視察人視察内規目次……………二

特別要視察人ノ種別
 特別要視察人名簿
 特別要視察人ノ視察取締
 渡來朝鮮人(臺灣人)
 尾 行
 寫眞、筆蹟
 指 紋
 爆發物、戎器其ノ他危險物

第一編 特別要視察人視察内規目次

第四號様式 尾行引繼書 二四頁

第五號様式 指紋原紙 二六頁

第六號様式 指紋小票 二八頁

第七號様式 氏名索引票 二九頁

第八號様式 異名索引票 二九頁

第九號様式 指紋採取者調 三〇頁

特別要視察人視察内規

第一條 特別要視察人トハ其ノ思想行動不穩過激ニ互リ治安ヲ害スル虞アリテ特高警察上特ニ視察ヲ要ス

ト認定シタル者ヲ謂フ

特別要視察人ハ左ノ如ク之ヲ種別ス

一、共產主義特別要視察人(略稱 特要共又ハ共)

(共產主義思想ヲ抱持シ治安維持法ニ違反スル行爲ヲ爲ス虞アル者)

二、社會主義特別要視察人(略稱 特要社又ハ社)

(社會主義、社會民主主義思想ヲ抱持シ労働爭議、小作爭議其ノ他ニ關シ治安ヲ紊ル行爲ヲ爲ス

虞アル者)

三、無政府主義特別要視察人(略稱 特要無又ハ無)

(無政府主義思想ヲ抱持シ治安ヲ紊ル行爲ヲ爲ス虞アル者)

四、他種特別要視察人(略稱 特要他又ハ他)

(以上何レノ種別ニモ屬セザル者)

朝鮮人又ハ臺灣人ニシテ前項ノ各種主義若ハ民族主義ヲ奉ズルモノハ勿論、假令一定ノ主義ヲ抱懷セズ

ト雖モ政治若ハ時事ニ關シ言動不穩過激ニシテ治安ヲ害スル虞アル者其ノ他警察上注意ヲ要スル者ニシテ特ニ視察ヲ要スト認メタルモノハ之ヲ特別要視察人ト爲シ左ノ如ク種別ス

一、朝鮮人特別要視察人(略稱 特要鮮又ハ鮮)

一、臺灣人特別要視察人(略稱 特要臺又ハ臺)

特別要視察人ハ凡テ甲號及乙號ニ分チ、治安ヲ害スル虞特ニ著シキモノヲ甲號(略稱 例ヘバ特要共甲又ハ共甲)ト爲シ、其ノ他ノモノヲ乙號(略稱 例ヘバ特要社乙又ハ社乙)トス

第二條 特別要視察人ニ對シテハ居住地(入營者ハ衛戍地、入監者ハ刑務所所在地、外地又ハ外國ニ居住スル者ハ其ノ本籍地)所轄廳府縣ハ甲號ニ付テハ第一號様式(一五頁)乙號ニ付テハ第二號様式(二二頁)ニ依ル名簿ヲ調製シテ備附スベシ

第三條 新ニ特別要視察人ニ編入シタル者アルトキハ、名簿ノ謄本一部ヲ添附シテ本省ニ申報シ、尙第三號様式(二三頁)ノ略式名簿所要事項ヲ各廳府縣竝ニ左記官廳ニ通報スベシ 但シ特要鮮(特要臺)甲ノ場合ハ朝鮮總督府(臺灣總督府)、警視廳、大阪、兵庫、長崎、山口及福岡ノ各廳府縣竝ニ本籍地道(州)長官ニモ名簿謄本ヲ送付スベシ

一、在上海內務書記官(長崎縣外事課長氣付)

二、朝鮮總督府警務局長、京畿道、平安北道、慶尙南道、全羅南道、咸鏡南道、咸鏡北道各知事

三、臺灣總督府警務局長

四、樺太廳長官

五、關東局司政部長、關東州廳長官

六、憲兵司令官

七、當該廳府縣所轄憲兵隊長

八、東京刑事地方裁判所檢事正、大阪控訴院檢事長

前項ノ場合名簿各欄ノ事項ニシテ調査上時日ヲ要スルモノアルトキハ其ノ判明セル部分ニ付名簿ヲ調製シ爾餘ノ事項ハ追報スベシ

第四條 前條ノ通報ヲ受ケタル各廳府縣ハ第三號様式ノ略式名簿ヲ調製シ各種別毎ニ整理保存スベシ

第五條 (削除)

第六條 名簿記載事項ニ異動ヲ生ジタルトキハ其ノ旨本省ニ申報シ、併セテ關係廳ニ通報スベシ

第七條 第二條ノ所轄ニ異動ヲ生ジタルトキハ、舊所轄廳ハ名簿ニ寫眞、筆蹟ヲ添附シテ新所轄廳ニ送付スベシ

前項ノ場合新所轄廳ハ名簿編入ノ手續ヲ爲スト共ニ其ノ旨ヲ申報シ、各廳府縣竝ニ關係廳ニ通報スベシ

第八條 前條ノ手續ハ特別要視察人ノ轉居先判明シタル後ニ於テ之ヲ爲スベシ 外地又ハ外國ニ轉居スル場合ハ目的地ニ向ケ内地港灣ヲ出發セシコト判明シタル後之ヲ爲スベシ

第九條 特別要視察人ノ思想行動ノ變化、死亡又ハ内地退去(特要鮮、特要臺ニ限ル 墓參、歸省等一時ノ退去ハ之ヲ含マズ)等ニ依リ特別要視察人トスルヲ必要トセザルニ至リタルトキハ、遲滯ナク名簿ヨリ削除スルト共ニ其ノ事由ヲ具シテ之ヲ申報シ、併セテ各廳府縣竝ニ關係廳ニ通報スベシ 尙削除シタル名簿ハ別ニ保存スベシ

第十條 名簿ノ提示ニ付地方裁判所檢事正ヨリ交渉アリタルトキハ極秘ヲ以テ内示スベシ

第十一條 徵兵適齡者ニシテ特別要視察人アルトキハ、所轄廳ハ其ノ住所、氏名ヲ毎年三月末日迄ニ本人本籍地所屬聯隊區司令官ニ内牒スベシ

第十二條 常ニ管内要注意人物ノ發見及其ノ言動ノ内査ニ努メ、特別要視察人ニ編入スルヲ適當ト認メタルトキハ遲滯ナク編入ノ手續ヲ執ルベシ

第十三條 特別要視察人ノ各種團體ニ對スル交渉脈絡關係ニ關シテハ特ニ注意視察スベシ

第十四條 特別要視察人其ノ他注意ヲ要スル人物ノ視察ニ當リテハ、特ニ其ノ來往、通信、會合、著譯、出版、宣傳煽動、資金ノ授受、兇器ノ所持等ニ注意シ、裏面ノ動靜探知ニ努ムベシ

第十五條 特別要視察人ニシテ所在不明トナリタル者アルトキハ、其ノ發見ニ努ムルト共ニ本籍、氏名(別名ヲモ)、種別、生年月日、職業、人相、特徴、立廻リ先及所在不明トナリタル當時ノ狀況其ノ他參考トナルベキ事項ヲ具シテ之ヲ申報シ、併セテ必要アルモノハ關係廳府縣ニ(特要鮮、特要臺ニアリ

テハ外地關係應及在上海内務書記官ニモ通報スベシ
所在不明者ヲ發見シタルトキハ手配シタル應府縣ニ於テ其ノ旨申通報スベシ

第十六條 特別要視察人ノ言動ニシテ注意ヲ要スルモノアルトキハ之ヲ本省竝ニ關係應ニ申通報スベシ
特ニ犯罪ニ關係アリ其ノ他必要ト認ムルトキハ所轄檢事正ニ報告シ、重要ナルモノニ付テハ所轄檢事長
及司法大臣ニモ報告スベシ

第十七條 特別要視察人ノ内地ニ於ケル一時ノ旅行ニシテ何等注意ヲ要スル事情ノ存セザル場合ニ於テハ
關係應府縣間ノ互報ニ依リテ過誤ナキヲ期シ本省ヘノ申報ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第十八條 特別要視察人又ハ特ニ注意ヲ要スル人物ニシテ一時内地ヲ離レムトスル場合ニ於テハ乗船地所
轄廳ニ對シ本人到着以前適宜電話電報若ハ書面ヲ以テ通報シ置クベシ

第十九條 新ニ外地又ハ外國ヨリ渡來シタル朝鮮人(臺灣人)ノ動靜ニ對シテハ特ニ注意シ、特別要視察人
ニ該當スル疑アル者ニ對シテハ名簿編入前ト雖モ其ノ住所、氏名、年齢、人相、特徴等ヲ本省竝ニ關係

各應府縣ニ申通報スベシ

第二十條 特別要視察人又ハ特ニ注意ヲ要スル人物ニ對シ取締上特ニ必要ト認ムル場合ハ張込、監視又ハ
尾行ヲ爲スベシ

第二十一條 前條ノ場合ニ於テハ係員ノ人選、視察上ノ注意事項等ニ特ニ留意シ、隱密巧妙ナル方法ニ依
リ其ノ效果ヲ擧グルニ努ムベシ
尾行ノ要否ノ判斷ニ付テハ警察署ニノミ委ヌルコトナク、警察部ニ於テ之ガ監督ヲ爲スベシ
尾行係員ノ員數ハ被尾行者ノ員數又ハ性狀ニ依リ適當ニ之ヲ定ムベシ

第二十二條 尾行引繼ハ隣接應府縣ニ遞次之ヲ爲スモノトス 但シ時宜ニ依リ直接行先地又ハ其ノ他ノ應
府縣ニ爲スコトヲ得

第二十三條 尾行引繼ヲ爲スニハ引繼ヲ受クベキ應府縣(已ムヲ得ザルトキハ警察署)ニ對シ電話電報其ノ
他便宜ノ方法ヲ以テ左記各號ノ事項ヲ豫報シ引繼ヲ爲シ得ル時間ノ餘裕ヲ存セシムルコトヲ要ス 電報

ヲ以テ通報スル場合ハ各號ノ事項中適宜省略スルコトヲ得

一、被尾行者ノ種別(特別要視察人ナルトキ)、本籍、住所、氏名(別名ヲモ)、年齢、職業、人相、特徴、服装及携帶品

二、尾行係員ノ員數並ニ引繼豫定ノ場所及日時

三、被尾行者ノ行先地、出發ノ場所、日時、旅行ノ方法(例へば徒歩、電車、汽車、船舶等)及其ノ經路

四、尾行ヲ要スル理由

第二十四條 尾行ノ引繼ハ豫報シタル引繼場所ニ於テ受繼者ニ之ヲ爲スベキモノトス

汽車電車等ニ乗込ノトキハ、尾行者ハ人目ヲ惹カザル程度ニ於テ停車前ヨリ「ハンカチーフ」ノ類ヲ窓外ニ打振ルカ又ハ車窓外舉手ノ方法ヲ以テ受繼者ニ其ノ所在ヲ示シ、一驛若ハ二驛間受繼者ト同乗シ完全ニ引繼ヲ了シタル上交代スルモノトス 但シ停車時間長クシテ其ノ間ニ完全ニ引繼ヲ了シ得ル場合ニ於テハ同乗ヲ省略スルコトヲ得

水路ニ依リタル時ハ最初ノ着船地ニ於テ引繼ギ、若シ停船時間短クシテ完全ニ引繼ヲ了シ難キトキハ次ノ着船地迄同乗スルモノトス

第二十五條 被尾行者出發後豫定ノ行先地、經路若ハ旅行ノ方法等ヲ變更シ豫定ノ引繼ヲ爲スコト能ハザルトキハ、尾行者ハ完全ニ引繼ヲ了スル迄其ノ儘尾行ヲ繼續シ、機會ヲ見テ適宜ノ方法ヲ講ジ最寄ノ警察署又ハ其ノ署員ニ引繼グモノトス 但シ署員ニ引繼ギタル場合ハ引繼者ハ受繼者ノ所屬警察署ニ對シ運滞ナク引繼ノ要項ヲ通知スベシ

前項ノ場合ニ於テハ受繼警察署ハ引繼ヲ受クベカリシ警察署ニ其ノ旨ヲ通知スベシ

第二十六條 何等カノ事故ニ因リ豫定ノ場所ニ受繼者來ラザル爲引繼不能ト成リタル場合ノ措置ニ付テモ亦前條ニ同ジ

第二十七條 被尾行者萬一尾行ヲ脱シタル場合ニ於テハ即時手配ヲ講ジ所在發見ニ努ムベシ

第二十八條 尾行引繼ノ際ハ引繼者及受繼者ハ相互ニ名刺ヲ交換シ若ハ警察手帳ヲ互ニ提示シ、引繼者ハ受繼者ニ對シ尾行引繼書ヲ交付スルモノトス

第二十九條 前條ノ尾行引繼書ハ被尾行者一人毎ニ第四號様式(二四頁)ニ依リ之ヲ調製シ、遞次引繼グモノトス

第三十條 特別要視察人又ハ特ニ注意ヲ要スル人物ニ對シテハ機會アル毎ニ其ノ寫眞竝ニ筆蹟(ペン、鐵筆ヲモ含ム)ヲ成ルベク各種ノモノニ互リ蒐集スベシ

第三十一條 前條ノ寫眞ニ關シテハ左記ノ標準ニ依リ措置ヲ爲スベシ

一、撮影スベキ場合

(イ) 檢束又ハ拘留シタルトキハ撮影スルコト

(ロ) 同一人ト雖モ服装、頭髮、鬚髯ノ長短等ニ依リ容貌其ノ他ニ著シキ變化アリタル場合ハ撮影スルコト

(ハ) 凡ユル機會ニ諸種ノ手段ヲ講ジテ、撮影シタルモノヲ入手シ複製シ置クコト

二、撮影方法

(イ) 原則トシテ正面脱帽ノモノ(半身)トシ、特ニ必要ト認ムル者ニ付テハ横面ノモノヲモ撮影スルコト

(ロ) 姓名(成ルベク自署)ヲ寫眞面ニ複寫スルコト

三、配布方法

(イ) 管内編入者、又ハ他應編入者ニシテ管内ニ關係アル者ノ寫眞ハ必要ニ應ジ成ルベク管内各警察署ニ配布シ平素ヨリ係員ニ之ヲ知ラシメ置クコト

(ロ) 手配其ノ他ノ關係上必要ト認メタル場合ニハ、關係應ニ成ルベク所要部數ヲ見込ミ送付スルコト

四、整理方法

(イ) 寫眞ハ之ヲ分類整理シ、名簿若ハ寫眞帳ニ貼付シテ保存シ置クコト

(ロ) 原板ハ整理ノ上保存シ置クコト

(ハ) 寫眞及原板ニハ必ズ撮影若ハ入手年月日ヲ記入スルコト

第三十二條 特別要視察人又ハ特ニ注意ヲ要スル人物ニ對シテハ力メテ指紋ヲ採取スベシ

第三十三條 指紋ノ採取ニ關シテハ左記標準ニ依リ措置ヲ爲スベシ

一、檢束又ハ拘留シタルトキハ第五號様式(二六頁)ニ依リ一人ニ付指紋原紙三枚ヲ作成シ指紋原紙保管應(以下單ニ原紙保管應ト稱ス)ニ各一枚ヲ送付スルコト

二、容疑ノ者ヲ檢束又ハ拘留シタルトキハ其ノ指紋原紙三枚ヲ採取シ、内一枚ヲ速ニ最寄原紙保管應ニ

送付シ照會スルコト

原紙保管廳ハ右ノ照會アリタルトキハ速ニ必要ナル事項ヲ回答シ、不發見ノ場合ハ原紙ニ容疑者指紋ト朱書シテ之ヲ保管スルコト

原紙採取廳ハ不發見ノ回答ニ接シタル場合ニハ他ノ原紙ニ容疑者指紋ト朱書シテ之ヲ他ノ原紙保管廳ニ送付スルコト

容疑者指紋被採取者ニシテ特別要視察人タルコトヲ發見シ又ハ之ニ編入シタルトキハ速ニ原紙保管廳ニ通報スルコト、其ノ偽名タルコトヲ發見シタルトキ亦同ジ

原紙保管廳ハ右ノ通報ヲ受ケタルトキハ直ニ容疑者指紋ノ表示ヲ抹消スルコト

三、原紙採取廳ハ原紙ヲ原紙保管廳ニ送付スル場合ニハ第六號様式(二八頁)ニ依リ指紋小票ヲ作成シ之ヲ其ノ廳ニ保存スルコト

四、原紙保管廳ハ指紋原紙ニ基キ第七號様式(一九頁)ニ依ル氏名索引票及異名アルモノニ對シテハ第八號様式(二九頁)ニ依ル異名索引票ヲ作成スルコト

五、指紋採取後相當ノ年月ヲ經過シタル者又ハ創傷其ノ他ノ事由ニ依リ前ニ採取シタル指紋ニ差異ヲ生ジタリト認メラルル者アルトキハ更ニ指紋ヲ採取シテ其ノ事由ヲ附シ各原紙保管廳ニ送付スルコト

原紙記載事項ニ異動ヲ生ジ又ハ指紋被採取者死亡シ若ハ原紙保存ノ必要ナシト認メラルルトキハ名簿

編入廳若ハ居住地所轄廳ニ於テ其ノ旨速ニ各原紙保管廳ニ通報スルコト

六、原紙保管廳ハ左ノ方法ニ依リ原紙ヲ整理スルコト

(イ) 原紙ハ左手分類ノ方法ニ依ルコト

(ロ) 原紙重複ノ場合ニ於テ前後ノ指紋ニ差異アルトキハ後ノ原紙ニ前ノ原紙ノ所要事項ヲ轉記シタル上前ノ原紙ヲ廢棄シ、前後ノ指紋ニ差異ナキトキハ前ノ原紙ニ新ナル記載事項ヲ轉記シタル上後ノ原紙ヲ廢棄スルコト但シ指紋不鮮明ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

(ハ) 原紙記載事項ノ異動報告アリタルトキハ直ニ之ヲ整理シ、死亡若ハ保存不必要ノ通報アリタルトキハ原紙ヲ廢棄スルコト

七、前號ハ指紋小票ニモ之ヲ準用スルコト

八、警視廳ハ毎月第九號様式(三〇頁)ニ依リ各廳府縣ノ指紋被採取者調ヲ翌月十日迄ニ本省並ニ原紙保管廳ニ申通報スルコト

九、既ニ刑事指紋ヲ採取シアル者ニ付テハ指紋原紙寫ヲ作成シ、原紙作成迄之ヲ用フルコト
指紋原紙寫ハ第五號様式(二六頁)ニ依ルコト

十、警視廳、大阪府、福岡縣又原紙保管廳トス

(第一頁)

被尾行者) 本籍住所 職業 氏名、年齢	人 相	特 徴	特別要視察 人タルトキハ 其ノ種別然 ラザルトキハ 尾行ノ理由
------------------------------	--------	--------	---

注 意

一、本書ハ最初尾行ニ著手シタル警察署ニ於テ之ヲ調整シ、行先地警察署
ニ逐次引繼グモノトス

一、尾行中ニ於テ人相、特徴、行先地、旅行ノ目的、服装及携帶品等ニ變
化アリタルトキハ尾行者ニ於テ各欄ノ記事ヲ相當訂正スルモノトス

一、尾行途中ニ於テ被尾行者ノ言動ニ關シ特ニ注意ヲ要スベキ事實アリタ
ルトキハ尾行者ハ其ノ要旨ヲ引繼書相當欄ニ記入シ、其ノ狀況ハ口頭
ヲ以テ引繼グモノトス

最初尾行ニ著手シタル警察署ニ於テ此
雛形ニ依ル摺印ヲ押捺スルモノトス

何處(府縣)何警察署

第四號様式 (日本標準規格B7)
尾行引繼書(原)

何々	○何月何日午前(後)何時頃何々ノ書箱ヲ開讀ス	何處(府縣)何警察署 巡在何某㊦	○何月何日午前(後)何時頃何々ノ書箱ヲ開讀ス	何々
----	------------------------	------------------	------------------------	----

注意 本冊子ニハ表裏ヲ附スルコト

(第三頁、但シ此ノ外數頁ヲ設ケルコト)

尾行者交代ノ月日時其ノ官職、氏名及被尾行者ノ舉動等 (記載例ヲ次ニ示ス)	一、昭和何年何月何日午前(後)何時何處ニ於テ尾行ニ著手 何處(府縣)何警察署 巡在何某㊦	○何月何日午前(後)何時何處ニ於テ何某ト何々ノ談話ヲ試ム	○何月何日午前(後)何時何處ニ於テ封書(又ハ端書)何通ヲ發信ス	一、昭和何年何月何日午前(後)何時何處ニ於テ引繼ヲ受ク	何處(府縣)何警察署 巡在何某㊦	○何月何日午前(後)何時頃何々ノ書箱ヲ開讀ス	何々
---	---	------------------------------	---------------------------------	-----------------------------	------------------	------------------------	----

(第二頁)

出發地及其 ノ月日時	行先地	旅行ノ目的	服装及携帶 品等	備 考
---------------	-----	-------	-------------	--------

氏名	職業	異名	性別	分類番號
(振假名ヲ附スベシ)				
本籍	出生地			
住所	生年月日			
(折)				
左 手				
1. 示指	2. 中指	3. 環指	4. 小指	5. 姆指
(折)				
右 手				
1. 示指	2. 中指	3. 環指	4. 小指	5. 姆指
(折)				
左 手		右 手		
昭和 年 月 日			= 於テ作成	
(折)				
昭和 年 月 日			= 於テ分類	
分類番印		検査番印		

(裏面)

指 示 手 左					前	所屬團體及團體 内ニ於ケル地位	種別及編入廳名	系	指紋採取ノ事由
署 自 人 本					科			統	
相 人									
徴 特									
考 備									

第六號樣式 (日本標準規格A6)

指紋小票

分類 番號	No.	氏 名	年 月 日
	年 月 日		
採取 年月日		生 年 月 日	年 月 日
本籍地		系 統	
出生地		種別及 編入順	
住所		所 屬 團 體 名	
前科			

(表面)

採取ノ事由	
備	(朝鮮人、臺灣人ニ付テハ内地渡 來年月日ヲモ記入スルコト)
考	

(裏面)

第七號樣式 (日本標準規格A7)

氏名索引票

氏 名		異 名
No.		
分類 番號	No.	
出生地	出生年	年 生
作成場所	作成年月	昭和 年 月

第八號樣式 (日本標準規格A7)

異名索引票

異 名		本 名
No.		
指紋 番號	No.	
出生地	出生年	年 生
作成場所	作成年月	昭和 年 月

寫

内務省發警第四一號

昭和十四年五月二十二日

内務省警保局長

警視總監
宛
各應府縣長官

(東京府知事ヲ除ク)

特別高等警察執務心得改正ニ關スル件依命通牒

昭和十年五月十五日内務省警祕第一〇號ヲ以テ通牒ノ特別高等警察執務心得ニ關スル件今般別冊ノ通改正致候條爾今右ニ依リ御取扱相成度

特別高等警察執務心得 目次

第一章 總則 第一條乃至第二十五條	一頁
○申通報 第十四條乃至第二十五條	七頁
第二章 視察取締 第二十六條乃至第八十二條	七頁
第一節 各種社會運動 第二十六條乃至第五十五條	七頁
○機關紙其ノ他印刷物	第二十八條、第三十一條、第四十五條、(第二十二條)
○過激ナル社會運動	第三十條乃至第三十三條
○檢舉取調	第三十四條、第三十五條、(第十一條乃至第十三條)
○共產主義運動	第三十六條乃至第三十九條
○國家主義運動	第四十條乃至第五十一條
○宗教運動	第五十二條乃至第五十五條
第二節 各種爭議 第五十六條乃至第六十條	一五頁
第三節 集會及多衆運動 第六十一條乃至第六十九條	一七頁
第四節 朝鮮人及臺灣人 第七十條乃至第八十五條	二〇頁
第二編 特別高等警察執務心得目次	

○朝鮮人名簿……………第七十條……………二〇頁

○朝鮮人勞働者募集……………七十二條……………一五頁

○外國若ハ外地來往朝鮮人(臺灣人)……………第七十七條乃至第八十五條……………一五頁

第三章 各種報告 第八十六條乃至第一百二條……………二四頁

○第一節 定期報告 第八十六條乃至第八十九條……………二四頁

○月報……………第八十七條……………二四頁

○半年報……………第八十八條……………二四頁

○年報……………第八十九條……………二四頁

○第二節 隨時報告 第九十條乃至第一百二條……………二九頁

各種樣式……………二九頁

第一號樣式 渡來要警戒朝鮮人(臺灣人)報告……………三五頁

(以下月報)

第二號樣式 治安維持法違反起訴者調……………三六頁

第三號樣式 勞働爭議(乙類)報告表……………三七頁

第四號樣式 勞働爭議ニ關スル犯罪檢舉調……………三八頁

第五號樣式 小作爭議ニ關スル犯罪檢舉調……………三九頁

第六號樣式 內地出入朝鮮人調……………四〇頁

第七號樣式 內地出入朝鮮人職業別調……………四一頁

第八號樣式 不正渡航朝鮮人調……………四二頁

(以下半年報)

第九號樣式 海港警備調……………四三頁

第十號樣式 勞働團體調……………四四頁

第十一號樣式 勞働團體數調……………四六頁

第十二號樣式 事業主團體調……………四七頁

第十三號樣式 産業別勞働者數調……………四八頁

第十四號樣式 主要農民組合現勢調……………四九頁

第十五號樣式 農民團體數及加盟員數調……………五〇頁

第十六號樣式 土地立入禁止、立毛差押其ノ他執行調……………五一頁

第十七號樣式 小作爭議ニ因ル多業動員其他治安上注意スベキ事象調……………五二頁

第十八號樣式 朝鮮人(臺灣人)職業別調……………五三頁

(以下年報)

第十九號樣式 治安維持法違反檢舉狀況調……………五五頁

第二十號樣式 學内左翼團體調……………五六頁

第二編 特別高等警察執務心得目次……………五六頁

第二編 特別高等警察執務心得目次

第二十一號樣式	學生生徒ノ左翼運動關係檢舉者調	五七頁
第二十二號樣式	思想團體調	五八頁
第二十三號樣式	國家(農本)主義思想團體調	五九頁
第二十四號樣式	國家(農本)主義聯合團體調	六〇頁
第二十五號樣式	特高關係政黨(支)部狀況調	六一頁
第二十六號樣式	特高關係政黨(又ハ團體)所屬議員數調	六二頁
第二十七號樣式	國家主義ヲ標榜スル犯罪檢舉調	六三頁
第二十八號樣式	類似宗教團體調	六四頁
第二十九號樣式	宗教犯罪及信仰ヲ利用スル不正行為檢舉件數調	六五頁
第三十號樣式	常時使用労働者百人以上ヲ有スル工場鑛山等調	六六頁
第三十一號樣式	労働團體經營共濟、教育其ノ他施設調	六七頁
第三十二號樣式	消費組合調	六八頁
第三十三號樣式	水平關係差別事件調	六九頁
第三十四號樣式	水平團體調	七〇頁
第三十五號樣式	水平運動ニ伴フ犯罪檢舉調	七一頁
第三十六號樣式	朝鮮人(臺灣人)團體別調	七二頁
第三十七號樣式	朝鮮人(臺灣人)世帯人員調	七四頁
第三十八號樣式	朝鮮人(臺灣人)學生校籍調	七五頁

第三十九號樣式	朝鮮人教育程度調	七六頁
第四十號樣式	朝鮮人(臺灣人)出身道(州)別調	七七頁
第四十一號樣式	一時離鮮證明書下附調	七八頁
第四十二號樣式	內鮮人爭鬧事件原因調	七八頁
第四十三號樣式	朝鮮人(臺灣人)犯罪調(刑法)	七九頁
第四十四號樣式	朝鮮人(臺灣人)犯罪調(特別法)	七九頁
第四十五號樣式	朝鮮人借地、借家其ノ他紛爭調	八〇頁
第四十六號樣式	朝鮮人(臺灣人)關係刊行物調	八一頁
第四十七號樣式	朝鮮人保護、救濟狀況調	八二頁

(以下隨時報告)

第四十八號樣式	事業主團體名簿	八三頁
第四十九號樣式	労働團體名簿	八八頁
第五十號樣式	(労働)團體(聯合)會名簿	九三頁
第五十一號樣式	(事業主)團體(同盟)會名簿	九三頁
第五十二號樣式	労働爭議(甲類)報告表	九八頁
第五十三號樣式	小作人(地主又ハ地主小作人協同的)團體名簿(本省申達不要)	一〇二頁
第五十四號樣式	小作爭議(發生)報告表	一〇四頁
第五十五號樣式	特高關係政黨名簿	一〇六頁
第五十六號樣式	特高關係政黨(農本)主義思想團體候補者表	一一三頁

第二編 特別高等警察執務心得目次

第二編 特別高等警察執務心得目次

第五十六號様式 特高關係政黨(國家(農本)主義思想團體)候補者當落表 一四頁

第五十七號様式 國家(農本)主義思想團體名簿 一五頁

第五十八號様式 消費組合名簿 一八頁

第五十九號様式 朝鮮人(臺灣人)(又ハ朝鮮(臺灣)問題ニ關スル)團體名簿 (本省申達不要) 二二頁

第六十號様式 (何々)團體名簿 二五頁

第六十一號様式 類似宗教團體名簿 二九頁

第六十二號様式 治安維持法違反檢舉者調 三四頁

特別高等警察執務心得

第一章 總則

第一條 特別高等警察(以下特高警察ト稱ス)ハ國家存立ノ根本ヲ破壞シ若ハ社會ノ安寧秩序ヲ攪亂セムトスルガ如キ各種社會運動ヲ防止鎮壓スルヲ以テ主タル任務トス 社會運動ニシテ合法穩健ナルモノハ固ヨリ之ヲ抑壓スベキニ非ズト雖モ、苟モ其ノ目的若ハ手段ニシテ國法ヲ干犯シ又ハ奇矯過激ニ亘ルモノニ對シテハ取締ヲ加フベキモノトス

第二條 各種社會運動ニ對シテハ、非合法ノモノハ勿論合法ノモノト雖モ常ニ周匝綿密ナル視察ヲ加ヘ、運動ノ因ツテ來ル所以ト其ノ實情トヲ明ニシ且絶エズ其ノ動向ニ注意シ、苟モ不法不軌ノ舉措ニ出ヅルノ餘地ナカラシムベシ

第三條 各種事件ノ取締ニ當リテハ事ノ真相ヲ究明シ、寬ニ流レズ嚴ニ失セズ適切妥當ノ方法ヲ講ズルニ細心ノ注意ヲ拂ヒ、一旦其ノ執行ニ當リテハ苟モ遲疑逡巡スルガ如キコトナク毅然トシテ之ヲ斷行スル處アルヲ要ス

第四條 視察ニ當リテハ取締ヲ要スベキ人物又ハ團體ノ認定ニ過誤ナキヲ期シ、取締ヲ要スベキモノヲ警察視線外ニ逸セザルニ努ムルト共ニ其ノ必要ナキモノニ無用ノ視察ヲ加フルガ如キコトナキヤウ留意スベシ。視察ハ成ルベク内偵ノ方法ニ依リ其ノ徹底ヲ期スベシ。

第五條 視察ヲ行フガ爲業務ヲ妨ゲ或ハ無用ニ反感ヲ挑發シ却テ思想ヲ惡化セシムルガ如キコトナキヤウ注意スベシ。

第六條 特高警察ニ從事スル者ハ常ニ國體ノ本義ニ關シ確固不拔ノ信念ヲ抱持シテ其ノ任ニ當ルト共ニ、事ニ臨ミテハ率先躬ヲ挺シテ公ニ奉ズルノ覺悟アルヲ要ス。

第七條 特高警察ニ從事スル者ハ平素ヨリ社會運動全般ノ情勢及關係法令ニ通曉スルニ努メ、事ニ當リテ正確ナル判斷ト適切ナル措置ヲ爲スニ誤ナキヲ期スベシ。

特高專務員ハ勿論一般警察官ニ對シテモ講習會ノ開催其ノ他ノ方法ニ依リ常ニ必要ナル教養訓練ヲ爲スベシ。

第八條 特高警察ニ從事スル者ハ機密ノ保持ニ付格別ノ注意ヲ爲スベシ。

視察内偵ニ當リテハ其ノ意圖ヲ相手方ニ察知セラレ又ハ不用意ノ間ニ警察上ノ機密ヲ口外スルガ如キコトナキヤウ注意スベシ。

第九條 前條第二項ニ關シテハ他廳府縣其ノ他ヨリ手配アリタル場合特ニ留意スベシ。

第十條 特高警察ハ其ノ性質上全國一體ト成リ統制アル活動ヲ爲スヲ必要トスルヲ以テ、常ニ本省トノ連絡ニ留意スルハ勿論、各廳府縣(北海道廳、警視廳、各府縣)ヲ指ス。以下同ジ)相互間ニ於テ緊密ナル連絡共助ヲ爲スニ努ムベシ。

檢察當局其ノ他關係官署トノ間ニモ緊密ナル連絡ヲ保持スルニ努ムベシ。

第十一條 各種事件ノ檢舉取締等ニシテ他廳府縣ニ相當影響アリト思料スルトキハ、緊急其ノ他已ムヲ得ザル場合ノ外事前ニ本省並ニ關係各廳府縣ト打合ヲ爲スベシ。

第十二條 他廳府縣内ニ於テ捜査等ヲ爲ス必要アル場合ニハ豫メ當該廳府縣ト連絡ヲ執リ其ノ共助ヲ求ムベシ 其ノ際當該廳府縣ハ必要ナル共助ヲ爲スベシ

第十三條 他廳府縣ニ關係アル事項ハ勿論、特異ノ事項ニシテ取締ノ參考トナルベキモノハ相互通報スベシ 注意ヲ要スベキ人物他廳府縣ニ立廻リタルトキ又ハ他廳府縣ニテ捜査中ト目スベキ人物ヲ檢舉シタルトキハ速ニ當該廳府縣ニ通報スベシ

第十四條 申通報ハ内容ノ要點ヲ逸セザルヤウ留意スベシ 申通報ハ正確ヲ要スルハ勿論ナルモ、時宜ヲ失スルトキハ其ノ價值ヲ喪失スルヲ以テ特ニ之ガ送達ノ迅速ヲ期スベシ

第十五條 申通報ハ本執務心得若ハ他ノ訓令、通牒ニ依リ定メタル場合ノ外、本省竝ニ各廳府縣以外ノ官廳ニ對シテ之ヲ爲サザルヤウ留意スベシ 特ニ機密ヲ要スル事項ニ付テハ本省以外ニ通報セザルヤウ留意スベシ

第十六條 警察關係當局以外ニ申通報ヲ爲ス場合ニ於テハ警察機密ニ屬スル用語(例ヘバ特別要視察人)ヲ用ヒザルヤウ留意スベシ

第十七條 申通報文書ニハ總テ其ノ封皮ニ㊦ノ記號ヲ付シ、内容機密ニ屬スルモノハ更ニ封皮ニ「警秘親展」ト明記スベシ 受理シタル「警秘親展」ノ文書ハ課長又ハ係主任自ラ之ヲ開封スル等格別嚴重ニ取扱フベシ

第十八條 申通報文書ハ日本標準規格B四ノ用紙ヲ用ヒ、文字及文章ヲ明瞭簡潔ニシ、本文ノ前ニ其ノ要旨ヲ摘記スベシ

第十九條 申通報文書ハ其ノ冒頭ニ申通報先各官廳名ヲ列記スベシ 同一事件ノ申通報ニシテ數回ニ亙ルモノアルトキハ、各報毎ニ前報ノ日附、番號ノ外第何報ナルカヲ記入シ前後ノ關係ヲ明瞭ニスベシ

第二十條 本省宛ノ申報書類ハ正副併セテ三通ヲ送付スベシ 前項ノ書類ハ凡テ封皮宛名ヲ保安課長トナスベシ

第二十一條 特ニ極秘ヲ要スル事項ニ付テハ本省ト打合セタル方法ニ依リ申報スベシ

第二十二條 社會運動ニ關スル印刷物ニシテ特高警察上注意ヲ要スベキモノヲ發見シタルトキハ本省ニ申報シ、現品(現品ナキトキハ成ルベク寫)ヲ正副本ニ添附スベシ。別ニ行政處分稟議ノ爲進達シタル場合ト雖モ亦同ジ

第二十三條 特ニ定メタル様式ニ依ル申通報文書ニシテ廳府縣名ヲ附シタルモノハ別ニ進達書ヲ添附スルニ及バズ

第二十四條 電信ニ依リ申通報ヲ爲ストキハ必要ニ應ジ暗號ヲ使用シ、又略符號ノ定アルモノハ之ヲ使用スベシ

第二十五條 電話ニ依ル申通報ハ必ず相手官署ノ當該事務責任者ハ相當責任者ニ對シテ之ヲ爲シ、用語ヲ明瞭簡潔ニシ其ノ要點ヲ失セザルヤウ留意スベシ

第二章 觀察取締

第一節 各種社會運動

第二十六條 各種ノ社會運動ニ關シ團體ヲ組織スルモノアリタルトキハ之ガ組織ノ動機、經過、主ナル構成人物、團體ノ目的、主義、綱領、實勢力、他團體トノ關係其ノ他各種ノ所要事項ヲ調査シ充分其ノ實體ヲ審ニスルト共ニ、爾後ノ推移ニ付不斷ノ注意ヲ爲スベシ。團體ノ日常行動、指導精神ノ推移、指導者ノ動靜等ニ付テハ特ニ周密ナル注意ヲ拂ヒ、矯激ナル主張行動ニ趨ルガ如キ場合ニハ嚴重ナル取締ヲ加フベシ。思想問題、社會問題其ノ他ノ研究等ニ關シ團體ヲ組織スルモノアリタルトキハ前二項ニ準ジ之ガ觀察取締ヲ爲スベシ

第二十七條 團體ニ對スル觀察ニ關シテハ特ニ裏面ノ主張行動、背後ノ人物、資金ノ出所、團體内部ニ於テ潛在的勢力アル者等ノ内査ニ意ヲ用フベシ

第二十八條 各種團體ノ機關紙、指令其ノ他ノ重要文書等ハ努メテ之ヲ入手シ、取締ノ參考ニ資スルト共

ニ本省並ニ關係廳府縣ニモ送付スベシ
集會、多衆運動等ニシテ重要ナルモノ又ハ會館、集會場其ノ他ノ施設ニシテ特異ナルモノ等取締上參考トナルベキモノハ成ルベク之ヲ撮影シテ本省並ニ關係廳府縣ニ送付シ、特別要視察人視察内規第三十一條(第一編一〇頁)ニ準ジ整理保存スベシ

第二十九條 學生運動ノ視察取締ニ當リテハ特ニ學校當局トノ連絡ヲ緊密ニスベシ

第三十條 過激ナル社會運動ニ付テハ常ニ其ノ全國的情勢殊ニ各團體ノ中央部ノ狀況ヲ知悉シ置クニ努メ、管内ニ於ケル各種ノ事情ヲ照合シ此種運動ノ潛入スル虞アル方面ニ對シテ嚴密ナル警戒ヲ加フベシ
常ニ管内ニ於ケル尖銳分子、殊ニ中央方面トノ連絡ニ從事シ易キ人物ノ動靜ニ注意シ、管内ノ此種運動ノ動向並ニ中央方面ノ運動トノ關係ヲ知悉シ置クニ努ムベシ

第三十一條 過激ナル主義ノ宣傳煽動ノ爲ニ發行、配布スル機關紙其ノ他ノ印刷物ニ對シテハ速ニ之ヲ押收シ、其ノ出所ヲ探查スル等適當ノ措置ヲ講ズルト共ニ、本省並ニ關係廳府縣ニ申通報シ、同時ニ司法大臣、所轄檢事長並ニ檢事正ニモ申通報スベシ 平素ヨリ管内印刷所、活版所ニ對スル視察ヲ嚴ニシ此種

印刷物ノ發見ニ努ムベシ

此種印刷物ノ記事ニ對シテハ常ニ充分ノ注意ヲ拂ヒ、運動ノ情勢其ノ他取締上參考トナルベキ事項ヲ知ルニ努ムベシ

第三十二條 過激團體ニ加盟セザルモ此種運動ニ資金、物資、宿所等各種ノ利便ヲ提供シ間接ニ之ヲ援助セムトスル者ニ對シテハ嚴密ナル視察取締ヲ加フベシ

第三十三條 過激ナル社會運動ハ檢舉取締ヲ受クル度毎ニ益其ノ方法巧緻トナリ、絶エズ新シキ戰略戰術ヲ案出シテ執拗ナル宣傳煽動ヲ爲スヲ以テ、平素ヨリ之ガ對策ヲ講究シ置クベシ

第三十四條 全國若ハ數廳府縣ニ關聯アル事件ノ檢舉ニ當リテハ左記諸點ニ留意シ、檢舉ヲシテ最モ效果的ナラシムルニ努ムベシ

- 一、檢舉ノ時期、方法並ニ範圍ニ付慎重考慮ヲ運ラスコト
- 二、本省、檢事局並ニ關係廳府縣ト事前ニ打合ヲ爲スコト
- 三、他廳府縣管内ニ於テ檢舉又ハ搜查ヲ爲ス場合ニハ必ず當該廳府縣ト連絡スルコト

- 四、新聞紙ノ記事差止(内務省若ハ檢事局)ノ要否ニ付充分考慮スルコト
- 五、組織ノ全貌竝ニ其ノ中央部トノ關係ヲ明ニシ置クコト
- 六、檢舉豫定者ノ所在ヲ豫メ確知シ置クコト
- 七、檢舉竝ニ取調従事員ノ人選、分擔竝ニ其ノ統制ニ付充分考慮スルコト

檢舉ニ着手シタルトキハ即時其ノ概要ヲ申報シ、爾後其ノ進展ノ狀況ニ付隨時申報スベシ

第三十五條 特高警察關係ノ犯人ヲ檢舉シタルトキハ、其ノ重要ナル者ニ付テハ聽取書寫ヲ本省ニ送付シ特ニ重要ナルモノナルトキハ成ルベク檢事聽取書寫ヲモ送付スベシ

治安維持法違反事件竝ニ不敬事件ニ付テハ總テ起訴狀寫ヲ國家主義關係ノ不穩事件ニ付テハ起訴狀、豫審終結決定書、論告書、判決書等ノ寫ヲモ送付スベシ

第三十六條 共產主義運動ニ對シテハ視察内偵ヲ周密ニシ、早期ニ之ガ全貌ノ把握ニ努メ、特ニ取締及檢舉ノ時機方法ニ考慮ヲ拂ヒ、以テ此種運動ノ豫防鎮壓ヲ期スベシ

第三十七條 共產主義運動ノ視察内偵ニ當リテハ特ニ左ノ各項ニ注意スベシ

- 一、日本共產黨其ノ他ノ地下潜行の運動ニ對シテ裏面内偵ニ主力ヲ注ギ、其ノ中心分子ノ動靜、中央部トノ連絡關係、出版物ノ早期入手等ニ依リ組織ノ全貌把握ニ努ムルコト
- 二、合法ヲ擬裝シテ團體ヲ組織スルモノアルヲ以テ單ニ表面ニ現レタル綱領規約ノミニ依ルコトナク、組織ノ經緯、中心人物ノ思想傾向、他團體特ニ極左團體トノ關係、國際連絡ノ有無等ヲ究明スルト共ニ、發行文書ノ内容ヲ仔細ニ檢討シ本來ノ指導精神竝ニ實體ヲ明ニスルコト
- 三、既存ノ合法團體ヲ利用シテ策動スルモノアルヲ以テ左翼團體ハ勿論、其ノ他廣ク各種團體ニ付キ其ノ動向ノ推移ニ注意スルコト

第三十八條 共產主義思想抱持者ノ發見ニ努ムルト共ニ、非轉向者ハ勿論、擬裝轉向ノ疑アル者ニ付テハ悉ク之ヲ視察圈内ニ置キ、其ノ動靜ニ注意スベシ

第三十九條 共產主義運動ニ關シ露國其ノ他海外方面トノ連絡ヲ爲サントスルモノニ對シテハ左記通牒ノ趣旨ニ依リ視察取締ヲ爲スベシ

- 一、露國過激派ノ機文發送取締ニ付稅關ト連絡方ノ件(大正八年三月十三日警保發第一三號ノ内)(第三編一〇五頁)

- 二、過激思想宣傳取締ニ關スル件(大正十四年六月二日內務省警祕第二六〇號)(第三編一〇六頁及一一〇頁)
- 三、露西亞關係邦人主義者等ノ取締ニ關スル件(大正十四年十二月五日內務省祕第一〇五〇號)(第三編一一一頁)

第四十條 所謂國家主義運動者中ニハ動モスレバ社會組織ノ急激ナル變革ヲ企圖シテ直接行動ニ訴ヘ若ハ之ヲ煽動セムトスルモノアルヲ以テ、此種運動ニ對シテハ常ニ周密ナル視察ヲ遂ゲ、斯ノ如キ舉措ニ出ヅルノ餘地ナカラシムルヤウ嚴重ナル取締ヲ加フベシ

第四十一條 國家主義團體ニ對シテハ特ニ其ノ急進的人物、潛行的活動ヲ爲ス者、背後ノ人物及左翼分子ニシテ轉向ヲ擬裝シテ團體ニ潛入セル者等ヲ平素ヨリ審ニシ、之等ノ者ノ動靜ニ付テハ常ニ周密ナル視察ヲ遂ゲ、其ノ旅行及轉住等ニモ細心ノ注意ヲ拂フベシ

第四十二條 國家主義團體ノ指導者等ノ側近人物或ハ一時寄寓者等ニ付テハ、假令團體所屬員ニ非ズト雖モ其ノ動靜ニ不斷ノ注意ヲ拂フベシ

第四十三條 國家主義運動ノ活動分子ノ交際關係、通信、連絡等ニハ特ニ充分ナル内偵ヲ遂グベシ

第四十四條 直接行動ノ動機トナル虞アル過激ノ言論竝ニ流言蜚言ニ注意シ之ガ取締ヲ爲スベシ

第四十五條 國家主義運動ニ關スル所謂不穩文書ニ對シテハ極力之ガ入手ニ努ムルト同時ニ、其ノ出所、執筆者、頒布先等ノ探知ニ努ムベシ

前項ノ不穩文書ニ對シテハ第三十一條ニ準ジ措置スベシ 但シ其ノ申通報先ニ付テハ必要ノ範圍ニ止ムベシ

第四十六條 直接行動等ニ關シテハ流言蜚語ノ類ト雖モ細心ノ注意ヲ拂ヒ、之ガ計畫ノ早期探知ニ努ムベシ

第四十七條 時事問題ニシテ國家主義運動者ノ策動スル虞アリト認メラルルモノニ付テハ豫メ之ニ留意シ、申通報其ノ他取締上機宜ヲ失セザルニ努ムベシ

第四十八條 國家主義運動ニ關スル不穩策動ノ聞込竝ニ要注意人物ノ行動等ハ事大小トナク速報スルト共ニ、機密ノ保持ニ付格別ノ注意ヲ拂フベシ

第四十九條 國家主義運動者ニシテ貴顯高官ヲ訪問シ或ハ身邊ニ追隨スルモノアルトキハ其ノ身元、目的等ヲ内偵シ、不穩ノ行動ニ出ヅル虞アルモノニ對シテハ嚴重取締ヲ爲スベシ

第五十條 國家主義運動ノ美名ニ匿レテ暴行、脅迫、詐欺、恐喝等ニ依リ不正ノ利益ヲ得若ハ賣名ヲ圖ラムトスル者又ハ之等ノ團體ニ對シテハ嚴重ナル取締ヲ爲スベシ

第五十一條 私塾、教化團體、修養團體等ノ形態ニ於テ結合スルモノト雖モ、過激ナル社會變革ノ目的ヲ藏スルモノト認メラルルモノニ付テハ充分其ノ真相ヲ内偵シ置クベシ

第五十二條 宗教團體中ニハ動モスレバ其ノ教義、教理ニ反國體的思想ヲ内包シ巧ニ神示、天啓等ニ假托シテ不敬、不逞ノ妄說ヲ宣布セムトスルモノアルヲ以テ此種容疑ノ教、宗團ニ對シテハ常ニ周密ナル視察内偵ヲ遂ゲ其ノ教說ノ思想的根柢ヲ把握スルニ努ムルト共ニ取締及檢舉ノ時機、方法等ヲ誤ルコトナキヲ期スベシ

第五十三條 宗教教師、信者等ニシテ其ノ信仰對象ノ絕對性ヲ誇示シ又ハ教祖、祖師等ノ尊嚴化ヲ圖ラムガ爲若ハ教義解釋ヲ歪曲シテ不敬不穩ナル言說ヲ流布セムトスルモノニ對シテハ不斷周匝ナル查察ヲ遂ゲ苟モ斯ノ如キ言動ニ出ヅルノ餘地ナキヤウ嚴重取締ヲ加フベシ 但シ其ノ言說ニシテ所屬教、宗團ノ教義ニ直接緣由スト認メラルルトキハ前條ニ依リ慎重措置スベシ

第五十四條 宗教團體、宗教教師等ニシテ奇矯、虛妄ノ教說ヲ流布シテ人心ヲ誑惑シ又ハ信者ノ信仰心理ヲ利用シテ財物搾取、風俗壞亂若ハ醫療妨害等ノ舉措ニ出ヅルモノニ對シテハ嚴重ナル取締ヲ加フベシ

第五十五條 宗教團體、宗教教師、信者等ニ對スル視察取締ニ當リテハ純真ナル信仰ヲ妨グルガ如キコトナキヤウ注意スベシ

第二節 各種爭議

第五十六條 勞働爭議、小作爭議、借家爭議、電燈爭議等各種爭議ニシテ純然タル經濟的紛議ニ過ギザルモノニ對シテハ濫ニ干涉スベキニ非ズト雖モ、之ガ推移ニ付テハ不斷ノ注意ヲ拂ヒ、苟モ其ノ手段方法ニシテ過激ニ互リ治安ヲ紊ルガ如キコトナカラシムルヤウ適切ナル取締ヲ加フベシ

第四十九條 國家主義運動者ニシテ貴顯高官ヲ訪問シ或ハ身邊ニ追隨スルモノアルトキハ其ノ身元、目的等ヲ内偵シ、不穩ノ行動ニ出ヅル虞アルモノニ對シテハ嚴重取締ヲ爲スベシ

第五十條 國家主義運動ノ美名ニ匿レテ暴行、脅迫、詐欺、恐喝等ニ依リ不正ノ利益ヲ得若ハ賣名ヲ圖ラムトスル者又ハ之等ノ團體ニ對シテハ嚴重ナル取締ヲ爲スベシ

第五十一條 私塾、教化團體、修養團體等ノ形態ニ於テ結合スルモノト雖モ、過激ナル社會變革ノ目的ヲ藏スルモノト認メラルルモノニ付テハ充分其ノ真相ヲ内偵シ置クベシ

第五十二條 宗教團體中ニハ動モスレバ其ノ教義、教理ニ反國體的思想ヲ内包シ巧ニ神示、天啓等ニ假托シテ不敬、不逞ノ妄說ヲ宣布セムトスルモノアルヲ以テ此種容疑ノ教、宗團ニ對シテハ常ニ周密ナル視察内偵ヲ遂ゲ其ノ教說ノ思想的根柢ヲ把握スルニ努ムルト共ニ取締及檢舉ノ時機、方法等ヲ誤ルコトナキヲ期スベシ

第五十三條 宗教教師、信者等ニシテ其ノ信仰對象ノ絕對性ヲ誇示シ又ハ教祖、祖師等ノ尊嚴化ヲ圖ラムガ爲若ハ教義解釋ヲ歪曲シテ不敬不穩ナル言說ヲ流布セムトスルモノニ對シテハ不斷周匝ナル查察ヲ遂ゲ苟モ斯ノ如キ言動ニ出ヅルノ餘地ナキヤウ嚴重取締ヲ加フベシ 但シ其ノ言說ニシテ所屬教、宗團ノ教義ニ直接緣由スト認メラルルトキハ前條ニ依リ慎重措置スベシ

第五十四條 宗教團體、宗教教師等ニシテ奇矯、虛妄ノ教說ヲ流布シテ人心ヲ誑惑シ又ハ信者ノ信仰心理ヲ利用シテ財物搾取、風俗壞亂若ハ醫療妨害等ノ舉措ニ出ヅルモノニ對シテハ嚴重ナル取締ヲ加フベシ

第五十五條 宗教團體、宗教教師、信者等ニ對スル視察取締ニ當リテハ純真ナル信仰ヲ妨グルガ如キコトナキヤウ注意スベシ

第二節 各種爭議

第五十六條 勞働爭議、小作爭議、借家爭議、電燈爭議等各種爭議ニシテ純然タル經濟的紛議ニ過ギザルモノニ對シテハ濫ニ干涉スベキニ非ズト雖モ、之ガ推移ニ付テハ不斷ノ注意ヲ拂ヒ、苟モ其ノ手段方法ニシテ過激ニ互リ治安ヲ紊ルガ如キコトナカラシムルヤウ適切ナル取締ヲ加フベシ

爭議ノ性質經濟的紛議ノ範圍ヲ逸脱シ過激思想ノ宣傳、革命運動ノ訓練其ノ他不純不穩ノ目的達成ノ爲ニスルモノナルニ於テハ之ニ對シ嚴重ナル警戒取締ヲ加フベシ

第五十七條 爭議發生ニ際シ取締上過誤ナキヲ期スル爲、平素ヨリ農村工場鑛山等ノ狀況、地主工場主鑛山主ト小作人勞働者トノ關係、小作人勞働者ノ意嚮竝ニ動靜、農民組合勞働組合ノ狀況、要注意人物ノ出入又ハ動靜等ニ付充分知悉シ置クニ努ムベシ

第五十八條 爭議ノ取締ニ付テハ特ニ左記事項ニ注意スベシ

- 一、當事者双方ニ對シ常ニ公正ナル態度ヲ保持シ濫ニ爭議ノ渦中ニ捲キ込マレザルヤウ注意スルハ勿論、殊更ニ嚴重ナル取締ヲ加ヘ却テ爭議ヲ激化セシムルガ如キコトナキヤウ注意スルコト
- 二、爭議團本部ノ組織竝ニ活動狀況等ノ視察内偵ヲ嚴密ニシ、殊ニ祕密移動本部等ノ有無ニ注意シ、諸種ノ不穩計畫實行ノ餘地ナカラシムルニ努ムルコト
- 三、殊更ニ爭議ヲ誘發、煽動、激化シ若ハ竊ニ外部ニアリテ爭議ヲ指導スル者ナキヤニ注意シ、殊ニ極左分子ノ介入ニ對シ最モ嚴重ナル警戒取締ヲ加フルコト
- 四、所謂暴力團等ヲ雇入レ若ハ自警團等ヲ組織シテ暴力行爲ニ訴ヘムトスルガ如キ場合ニアリテハ特ニ

嚴重ナル取締ヲ加フルコト

- 五、他廳府縣ニ關係アリ若ハ波及スル虞アル爭議ニ付テハ關係廳府縣トノ連絡ヲ緊密ニスルコト
- 六、公益事業ニ關スル爭議ニ對シテハ其ノ事業ノ性質ニ鑑ミ取締上特ニ慎重ナル考慮ヲ加フルコト
- 七、爭議ニ關シ假處分等ノ強制執行アルトキハ裁判所又ハ執達吏等トノ連絡ヲ密ニスルコト

第五十九條 爭議ニ關シテ所謂「ゼネスト」ヲ計畫シ若ハ之ニ導カムトスル虞アルモノニ對シテハ嚴密警戒シ之ガ事前防止ニ努ムベシ

第六十條 各種爭議ニ關シ新奇ナル戰術又ハ社會的影響抄カラザル戰術ヲ用フルモノアリタル場合ハ其ノ狀況ヲ成ルベク詳細ニ申通報スベシ

第三節 集會及多衆運動

第六十一條 集會又ハ多衆運動ノ計畫ハ成ルベク早期ニ之ヲ探知シ、公安ヲ害スル虞アリト認ムルトキハ事前ニ阻止スベシ

第六十二條 屋外ニ於ケル國民大會、民衆大會、市民大會、勞働者大會、農民大會等ノ集會竝ニ多衆運動ハ從來慣行トシテ許容セラレ居ルモノヲ除キ原則トシテ阻止スベキモノトス 特ニ公安ヲ害スル虞ナシト認メ之ヲ許容セムトスルトキハ豫メ本省ト打合ヲ爲スベシ

第六十三條 集會又ハ多衆運動ニ對スル取締ニ付テハ特ニ左記事項ニ注意スベシ

- 一、標語等ハ事前ニ内閲シ、不穩當ノモノハ諭旨撤回セシムルコト
- 二、責任者ヲ定メシメ、統制ヲ失ハシメザルヤウニスルコト
- 三、所謂警備員等ニシテ警察官ニ對抗セムトスルガ如キ意圖アルモノハ之ヲ設ケシメザルコト
- 四、必要ト認ムル場合ハ入場者又ハ參加者ノ身體検査ヲ爲スコト
- 五、場内又ハ途中ニ於テ宣傳ビラ等ノ撒布ヲ爲サシメザルコト
- 六、檢束等ヲ爲ス場合ニ於テハ混亂セシメザルヤウ注意スルコト
- 七、主催者又ハ參加者ニ於テ殊更ニ混亂ヲ生ゼシメ解散ニ導カムトスル計畫ナキヤニ留意スルコト
- 八、解散ヲ命ジ又ハ散會スル場合ニハ豫メ警察官ノ配置等ニ注意シ、示威運動等ノ不穩ノ行動ニ移ラシメザルヤウ嚴重警戒スルコト

第六十四條 集會ニ於テ附議、朗讀、配布セラルベキ宣言、綱領、規約、議案、決議「メツセージ」等ハ事前ニ提出セシメテ内閲シ、不穩當ノモノハ諭旨ノ上訂正又ハ撤回セシムベシ

第六十五條 集會ノ臨監ハ成ルベク社會運動ニ通曉シ特高事務ニ經驗アル者ヲシテ之ニ當ラシムベシ 講談論議ニ對シテハ成ルベク速記ヲ付スベシ

第六十六條 屋外集會又ハ多衆運動ニ對シテハ其ノ場所、時間、順路、參加者ノ服裝、携帶品、隊伍ノ編成、樂隊、旗幟、手旗等ニ付必要ニ依リ制限、禁止又ハ變更ヲ加フベシ

第六十七條 遠足會、慰安會、海水浴、神社參拜、共同植付、共同刈取、抗議、陳情其ノ他名義ノ如何ヲ問ハズ事實上屋外集會又ハ多衆運動ト認メラルモノニ對シテハ前數條ニ依リ取締ヲ爲スベシ

第六十八條 非政事集會ニ於テ政事ニ涉ルベキ事項ヲ論議スル虞アルモノニ對シテハ、正規ノ届出ヲ爲サシメ、政事集會トシテ取締ヲ爲スベシ

第六十九條 思想團體、勞働團體、農民團體、各種學校ノ學生生徒等ニシテ社會問題ニ關スル講習會、講演會又ハ研究會座談會等ヲ開催スル場合ニ於テハ必要ニ依リ前數條ニ準ジ取締ヲ爲スベシ

第四節 朝鮮人及臺灣人

第七十條 在住朝鮮人ニ付テハ其ノ居住地所轄ノ廳府縣ニ於テ成ルベク名簿ヲ作成シ、本籍、出生地、住所、氏名、別名、生年月日、性別、職業、性行、人相、特徴、渡來年月日、家族關係、交友關係、團體關係等警察取締上必要事項ヲ記入シ、異動ノ都度整理シ、常ニ所在ヲ明ニシ置クノ方法ヲ講ズベシ

第七十一條 在住朝鮮人ノ密集地帶、稼働場所、飯場等ニ對シテハ絶エズ嚴密ナル視察ヲ遂ゲ容疑人物ノ發見ニ努ムベシ

第七十二條 内地企業家ニシテ鮮内ニ於テ朝鮮人勞働者ノ募集ヲ爲サムトスルモノニ對シテハ左ノ通牒等ニ依リ措置スベシ

一、朝鮮人勞働者ノ募集ニ關スル件(大正七年十二月十二日警閣第四二〇號)(第三編六五頁)

二、朝鮮人勞働者募集ニ關スル件(大正十二年五月十四日內務省閣警第三號)(第三編六六頁)

三、朝鮮人勞働者募集ニ關スル件(昭和四年五月七日發社第三〇號)(第三編六七頁)

四、朝鮮人勞働者募集願取扱ニ關スル件(大正十五年九月二十三日朝保祕第一、一七〇號)(第三編六七頁)

五、勞働者募集取締規則(大正七年一月朝鮮總督府令第六號改正大正八年八月第一三三號)(第三編一三四頁)

第七十三條 在住朝鮮人、臺灣人ニシテ各種公ノ議員ノ選舉ニ際シ立候補シタル者アルトキハ其ノ狀況ニ付必要事項ヲ申報スベシ

在住朝鮮人、臺灣人タル各種議員等ノ言動ニシテ重要ナルモノハ時々申報スベシ

第七十四條 朝鮮人、臺灣人タル學生及宗教家ノ動靜ニ付テハ充分注意スベシ

第七十五條 朝鮮人(臺灣人)ノミヲ以テ、若ハ主トシテ朝鮮人(臺灣人)ヲ以テ組織スル團體又ハ朝鮮人(臺灣人)ノ保護、誘掖其ノ他朝鮮(臺灣)問題ニ關スル團體ニ對シテハ、第二十六條及第二十七條ニ準ジ視察取締ヲ爲スベシ

內鮮協和ノ趣旨ニ悖ルガ如キ團體ノ組織ハ、成ルベク事前ニ之ヲ成立セシメザルヤウ適宜ノ措置ヲ講ズ

ルト共ニ、其ノ都度申報スベシ

第七十六條 内地人關係ノ各種團體内ニ朝鮮人(臺灣人)ノ加盟者アル場合ニハ、其ノ加盟員數、主ナル加盟人物、團體内ニ於ケル加盟員ノ地位竝ニ動靜、其ノ團體自身ノ朝鮮(臺灣)問題ニ關スル策動ノ狀況其ノ他所要事項ヲ調査シ、必要ニ應ジ適宜ノ取締ヲ爲スベシ

第七十七條 外地若ハ海外ト内地トノ間ヲ來往スル朝鮮人(臺灣人)ニ對シテハ特ニ注意ヲ拂ヒ、着船地又ハ乗船地ノ所轄廳府縣ニ於テ嚴密ナル檢索ヲ勵行シ要注意人物ノ發見ニ努ムベシ 容疑ノ點アルモ留置取調ヲ要スル程度ニ非ズト認メ通過セシメタル者ニ對シテハ行先地廳府縣ニ通報スルト共ニ、成ルベク沿道關係廳府縣ニモ電話等ニ依リ遞次通報シ、尙必要アル場合ハ本籍地又ハ住所地所轄廳(海外派遣内務書記官、同事務官ヲ含ム)ニ直接照會スル等迅速適宜ノ措置ヲ講ズベシ

第七十八條 外地竝ニ海外ヨリ渡來(再渡來ヲ含ム)スル朝鮮人(臺灣人)中要視察人若ハ特ニ注意ヲ要スト認メラルル人物ニ對シテハ、第一號様式(三五頁)ニ依リ各事項ヲ調査シ本省竝ニ行先地廳府縣ニ申通報スベシ

第七十九條 外地若ハ海外ヨリ渡來スル朝鮮人(臺灣人)ニ對シテハ爆發物、變裝戎器、拳銃、短銃、藥品其ノ他危險ノ虞アル物件ノ所持、隱匿ニ對シテニ嚴重ナル檢索ヲ行ヒ之ガ發見ニ努ムベシ 前項ノ危險物ヲ發見シタルトキハ、正規ノ手續ヲ經テ移入セルモノナリヤ否ヤヲ調査スルト共ニ、假令朝鮮(臺灣)内ニ於テ正規ノ許可ヲ受ケ居ルモノナリト雖モ、内地ニ於ケル之ガ携帯ニ付テハ嚴重身元等ヲ調査シタル上、事情止ムヲ得ザル場合ノ外之ヲ許可セザルノ方針ヲ執ルベシ

第八十條 不正渡航ノ朝鮮人發見ノ際ハ必要事項ヲ調査シ、懇諭ノ上歸鮮セシムルヤウ適宜ノ措置ヲ講ジ、本省、關係廳府縣竝ニ朝鮮關係廳ニ申通報スベシ 右取扱ニ際シテハ容疑不逞ノ人物ニ非ザルヤニ付特ニ嚴重ナル取調ヲ要スルハ勿論ナルモ、容疑ノ點ナキ限り單ニ不正渡航者ナルノ故ヲ以テ濫ニ不當苛酷ノ取扱ヲ爲スガ如キコトナキヤウ注意スベシ

第八十一條 海外其ノ他ヨリ不穩不軌ノ行動ヲ目的トシテ内地ニ潛入スル不逞人物ニ對シテハ、必要ニ應ジ船舶、列車内移動警察ノ實施、主要ナル船車發着場ノ見張、檢索ノ勵行其ノ他時々接客業者等ニ對スル臨檢ノ執行等有效適切ナル手段ヲ講ジテ嚴重ナル査察警戒ヲ行フノ外、平素管内在住竝ニ來往朝鮮人ノ動靜ニ充分留意スル等之ガ發見逮捕ニ付最善ノ努力ヲ拂フベシ

第八十二條 前數條ノ檢索實施ニ付テハ當該業務者、従業員ハ勿論關係稅關、鐵道當局等ト常ニ緊密ナル連絡協調ヲ保持スルニ努ムベシ

第八十三條 外地竝ニ海外ニ在ル朝鮮人(臺灣人)主義者ト内地在住ノ同志トノ連絡提携ニ對シテハ常ニ周密ナル注意ヲ拂ヒ、特ニ其ノ通信、來往ニ付嚴重視察内偵ヲ爲スベシ

第八十四條 外地編入ノ要視察人ノ來往、居住ニ對シテハ其ノ動靜ヲ監視シ、内地及外地關係應ニ通報スルノ外、重要事項ニ關シテハ本省ニ申報スベシ

第八十五條 朝鮮人、臺灣人ノ取締ニ關シテハ特ニ外地關係應竝ニ海外出先官憲ト緊密ナル連絡協調ヲ保持スルニ努ムベシ

第三章 各種報告

第一節 定期報告

第八十六條 定期報告ヲ分チテ月報、半年報及年報ノ三種トス

定期報告ハ必ズ所定ノ期限内ニ報告スベシ 但シ該當事項ナキト雖モ其ノ旨申報スベシ

第八十七條 左記調表(月報)ハ毎月其月中ニ發生スル該當事項ニ關シ翌月十日迄ニ本省ニ必着スルヤウ報告スベシ 但シ報告ノ様式ハ第二號様式乃至第八號様式ニ依ルモノトス

一、治安維持法違反起訴者調

二、労働争議(乙類)報告表

三、労働争議ニ關スル犯罪檢舉調

四、小作争議ニ關スル犯罪檢舉調

五、内地出入朝鮮人調

六、内地出入朝鮮人職業別調

七、不正渡航朝鮮人調

前項第二號(第三號様式)ハ第九十二條第一項各號ニ該當セザル争議(乙類)ニ付作成スルモノトス

(第二號様式)(三六頁)

(第三號様式)(三七頁)

(第四號様式)(三八頁)

(第五號様式)(三九頁)

(第六號様式)(四〇頁)

(第七號様式)(四一頁)

(第八號様式)(四二頁)

第八十八條 左記調表(半年報)ハ毎年六月末及十二月末現在ニ依リ、各半年中ニ發生セル該當事項ニ關シ夫々翌月末日迄ニ本省ニ必着スルヤウ報告スベシ 但シ報告ノ様式ハ第九號様式乃至第十八號様式ニ依ルモノトス

記 (半年報)

- 一、海港警備調 (第九號様式)(四三頁)
 - 二、勞働團體調 (第十號様式)(四四頁)
 - 三、勞働團體數調 (第十一號様式)(四六頁)
 - 四、事業主團體調 (第十二號様式)(四七頁)
 - 五、產業別勞働者數調 (第十三號様式)(四八頁)
 - 六、主要農民組合現勢調 (第十四號様式)(四九頁)
 - 七、農民團體數及加盟員數調 (第十五號様式)(五〇頁)
 - 八、土地立入禁止、立毛差押其ノ他執行調 (第十六號様式)(五一頁)
 - 九、小作爭議ニ因ル多衆動員其ノ他治安上注意スベキ事象調 (第十七號様式)(五二頁)
 - 十、朝鮮人(臺灣人)職業別調 (第十八號様式)(五三頁)
- 前項第十號(第十八號様式)ノ調ハ朝鮮總督府(臺灣總督府)ニモ通報スベシ

第八十九條 左記調表(年報)ハ毎年十二月末現在ニ依リ、其年中ニ發生セル該當事項ニ關シ翌年一月末日迄

ニ本省ニ必着スルヤウ報告スベシ 但シ報告ノ様式ハ第十九號様式乃至第四十七號様式ニ依ルモノトス

記 (年報)

- 一、治安維持法違反檢舉狀況調 (第十九號様式)(五五頁)
- 二、學内左翼團體調 (第二十號様式)(五六頁)
- 三、學生生徒ノ左翼運動關係檢舉者調 (第二十一號様式)(五七頁)
- 四、思想團體調 (第二十二號様式)(五八頁)
- 五、國家(農本)主義思想團體調 (第二十三號様式)(五九頁)
- 六、國家(農本)主義聯合團體調 (第二十四號様式)(六〇頁)
- 七、特高關係政黨本(支)部狀況調 (第二十五號様式)(六一頁)
- 八、特高關係政黨(又ハ團體)所屬議員數調 (第二十六號様式)(六二頁)
- 九、國家主義ヲ標榜スル犯罪檢舉調 (第二十七號様式)(六三頁)
- 十、類似宗教團體調 (第二十八號様式)(六四頁)
- 十一、宗教犯罪及信仰ヲ利用スル不正行為檢舉件數調 (第二十九號様式)(六五頁)

- 十二、常時使用労働者百人以上ヲ有スル工場鑛山等調 (第三十號様式)(六六頁)
- 十三、労働團體經營共濟、教育其ノ他施設調 (第三十一號様式)(六七頁)
- 十四、消費組合調 (第三十二號様式)(六八頁)
- 十五、水平關係差別事件調 (第三十三號様式)(六九頁)
- 十六、水平團體調 (第三十四號様式)(七〇頁)
- 十七、水平運動ニ伴フ犯罪檢舉調 (第三十五號様式)(七一頁)
- 十八、朝鮮人(臺灣人)團體別調 (第三十六號様式)(七二頁)
- 十九、朝鮮人(臺灣人)世帯人員調 (第三十七號様式)(七四頁)
- 二十、朝鮮人(臺灣人)學生校籍調 (第三十八號様式)(七五頁)
- 二十一、朝鮮人教育程度調 (第三十九號様式)(七六頁)
- 二十二、朝鮮人(臺灣人)出身道(州)別調 (第四十號様式)(七七頁)
- 二十三、一時歸鮮證明書下附調 (第四十一號様式)(七八頁)
- 二十四、内鮮人爭鬭事件原因調 (第四十二號様式)(七八頁)
- 二十五、朝鮮人(臺灣人)犯罪調(刑法) (第四十三號様式)(七九頁)
- 二十六、朝鮮人(臺灣人)犯罪調(特別法) (第四十四號様式)(七九頁)

- 二十七、朝鮮人借地、借家其ノ他紛争議調 (第四十五號様式)(八〇頁)
 - 二十八、朝鮮人(臺灣人)關係刊行物調 (第四十六號様式)(八一頁)
 - 二十九、朝鮮人保護、救濟狀況調 (第四十七號様式)(八二頁)
- 前項第二十一號(第三十九號様式)ノ調ハ朝鮮總督府(臺灣總督府)ニモ通報スベシ

第二節 臨時報告

第九十條 左記各號ノ一ニ該當スル團體ノ組織アリタルトキハ其ノ所轄廳府縣ニ於テ第四十八號乃至第五十號様式ニ依リ各其ノ名簿ヲ調製備付シ之ヲ整理スベシ

一、事業主團體(労働條件ニ關スル事項ヲ其ノ綱領ノ一トシ若ハ實質上之ニ關シ行動スル事業主ノ組織スル團體)又ハ其ノ支部(第四十八號様式)(八三頁)

二、労働團體(労働條件ノ維持改善ヲ其ノ綱領ノ一トシ若ハ實質上之ニ關シ行動スル労働者(工場、鑛山、海上、交通労働者、大工、左官、石工、仲仕、人夫、日雇稼其ノ他)ヲ組織スル團體)又ハ其ノ支部(第四十九號様式)(八八頁)

三、前各號團體ノ聯合會若ハ同盟會又ハ其ノ支部(第五十號様式)(九三頁)

第九十一條 前條團體(聯合會及同盟會モ含ム)ノ組織解散、消滅其ノ他名簿記載事項等ニ著シキ異動アリタルトキハ其ノ都度報告スベシ

第九十二條 左記各號ノ一ニ該當スル労働爭議(甲類)ノ發生シタルトキハ直ニ爭議發生ノ場所、工場、鑛山等ノ名稱、發生年月日、事業ノ種類、資本金、企業ノ系統、事業主名(法人組織ニアリテハ代表者ノ氏名)、使用労働者數(男女別)、爭議參加者數、爭議發生ヲ見ルニ至リシ事情、要求事項、關係労働組合ノ狀況等ノ事項ヲ具シテ報告スベシ(必要アリト認ムル場合ハ爭議發生ノ場所、爭議團本部ノ位置ヲ示ス圖面ヲ添附スベシ)但シ左記一、二、三、ノ一ニ該當スルモノニシテ工場閉鎖、同盟罷業若ハ怠業ヲ伴フモノ、其ノ他特ニ必要ト認ムルモノニ付テハ事件ノ要領ヲ電報若ハ電話ヲ以テ先ヅ報告スベシ

- 一、 常時使用労働者五百人以上ヲ有スル工場、鑛山等ニ於ケル労働爭議
- 二、 參加人員二百人以上ノ労働爭議
- 三、 公益事業ニ於ケル労働爭議
- 四、 工場閉鎖ヲ伴フ労働爭議
- 五、 同盟罷業若ハ怠業ヲ伴フ労働爭議
- 六、 其ノ他特ニ注意ヲ要シ又ハ異例ニ屬スル労働爭議

前項ノ労働爭議解決シタルトキハ第五十一號様式(九八頁)ニ依リ其ノ爭議解決後十日以内ニ之ヲ報告スベシ

第九十三條 前條ノ報告中爭議ノ原因、要求事項其ノ他爭議ノ要點ニ關シテハ表裏ノ有無、若シ苟モ潜在的企圖アリト認メラルル場合ニハ其ノ事實ノ經緯等成ルベク詳細ニ報告スベシ

第九十四條 小作人團體、地主團體、地主小作人協調的團體及之等ノ支部ノ組織アリタルトキハ、其ノ所轄廳府縣ニ於テ第五十二號様式(一〇二頁)ニ依リ名簿ヲ調製備付シ之ヲ整理スベシ 前項主要團體ノ解散、消滅竝ニ重要行動等ハ其ノ都度報告スベシ

第九十五條 小作人團體ノ青年部、婦人部、少年部ニ付テハ前條ニ準ジテ取扱フベシ

第九十六條 小作爭議ノ發生、經過、解決ニ付テハ第五十三號様式(一〇四頁)ニ依リ速ニ報告シ、特ニ必要ト認ムルモノニ付テハ其ノ要領ヲ電話電報ヲ以テ先ヅ報告スベシ

第九十七條 特高關係政黨ニ關シテハ左記ニ依リ取扱ヲ爲スベシ

- 一、政黨ノ組織アリタルトキハ其ノ所轄廳府縣ニ於テ第五十四號様式(一〇六頁)ニ依リ名簿ヲ調製シ、其ノ謄本ニ會則、規約等ヲ添附シテ申達スルコト
- 二、名簿各欄ノ事項ニシテ調査上時日ヲ要スルモノアルトキハ其ノ判明セル部分ニ付名簿ヲ調製申達スルコト
- 三、名簿記載事項ニ異動ヲ生ジタルトキハ之ヲ原本ニ記載シ、其ノ旨申報スルコト
- 四、解散、合併等ノ事由ニヨリ團體消滅シタルトキハ削除ノ手續ヲ爲シ、直ニ申報スルコト
- 五、政黨員ガ各種ノ選舉ニ立候補シタル場合ニハ第五十五號様式(一一三頁)ニ依リ報告スルコト
- 六、選舉ニ關スル行動ニシテ注意ヲ要スルモノアルトキハ其ノ狀況ヲ報告スルコト
- 七、第五十八號様式ノ表申達後議員候補者タルコトヲ辭シタル場合ニハ其ノ事由及運動費用ヲ其ノ都度報告スルコト
- 八、選舉終了後七日以内ニ第五十六號様式(一一四頁)ニ依リ申報スルコト

國家(農本)主義思想團體ノ所屬員ニシテ各種ノ選舉ニ立候補シタル場合ニハ前項第五號乃至第八號ニ準ジ取扱ヲ爲スベシ

第九十八條 左記各號ノ一ニ該當スル團體ノ組織アリタルトキハ、其ノ所轄廳府縣ニ於テ夫々第五十七號

乃至第六十一號様式ニ依リ名簿ヲ調整シ、其ノ謄本ニ會則規約等ヲ添附シテ速ニ之ヲ申達スベシ 申達

ヲ爲シタル後團體ノ解散、消滅其ノ他名簿記載事項等ニ著シキ異動アリタルトキハ其ノ都度報告スベシ

但シ第二號第三號及第四號中ノ融和團體並ニ第五號ノ各團體名簿ハ所轄廳府縣ニ於テ調製備付シ本省ニ

申達スルヲ要セズ

- 一、國家(農本)主義思想團體 (第五十七號様式)(一一五頁)
- 二、消費組合 (第五十八號様式)(一一八頁)
- 三、朝鮮人(臺灣人)(又ハ朝鮮(臺灣)問題ニ關スル)團體 (第五十九號様式)(一二二頁)
- 四、水平團體、反水平團體及融和團體 (第六十號様式)(一二五頁)
- 五、借地、借家人(地主、家主)團體 (第六十號様式)(一二五頁)
- 六、思想問題、社會問題其ノ他研究團體 (第六十號様式)(一二五頁)
- 七、類似宗教團體 (第六十一號様式)(一二九頁)
- 八、其ノ他各種社會運動ニ關スル團體 (第六十號様式)(一二五頁)

第九十九條 治安維持法違反事件被疑者ヲ檢舉シタル場合ハ其ノ都度速ニ第六十二號様式(一三四頁)ニ依

第四號様式

報月		労働争議ニ關スル犯罪檢舉調(月分)				年 月 日 報 府 日 報 縣	
争議發生工場、鑛山 等ノ名稱及所在地	檢舉月日	争議ノ 始終期	犯罪ノ日 時及場所	犯罪事實ノ概要	罪名及 適用法條 人員	檢舉 人員	處分ノ 結果
	月日	自月日 至月日	自月日 至月日				

注意

- 一、本調ハ即決處分ニ付シタルモノ及檢事ニ事件ヲ送致シタルモノニ付調査スルコト
- 二、檢舉事件各一件ヲ一欄ニ記載スルコト
- 三、檢舉人員中女アルトキハ()ヲ附シ内書スルコト
- 四、處分未決ナルモノハ其ノ旨朱書シ、爾後處分確定ノ都度追報スルコト
- 五、檢舉總人員中争議發生ノ工場、鑛山等ニ於ケル雇傭労働者以外ノモノアルトキハ其ノ内譯ハ()ヲ附シテ其ノ人員數ヲ内書スルコト

第五號様式

報月		小作争議ニ關スル犯罪檢舉調(月分)				年 月 日 報 府 日 報 縣	
争議發生ノ場所	檢舉月日	争議ノ 始終期	犯罪ノ日 時及場所	犯罪事實ノ概要	罪名及 適用法條 人員	檢舉 人員	處分ノ 結果
	月日	自月日 至月日	自月日 至月日				

注意

- 一、本調ハ即決處分ニ付シタルモノ及檢事ニ事件ヲ送致セシモノヲ記載スルコト
- 二、檢舉人員中女アルトキハ()ヲ附シ内書スルコト
- 三、處分未決ノモノハ其ノ旨朱書シ、爾後處分確定ノ都度追報スルコト
- 四、檢舉人員中争議當事者以外ノモノアルトキハ()ヲ附シ其ノ人員ヲ内書スルコト
- 五、犯罪檢舉一件毎ニ一欄ニ記載スルコト

第十一號様式

報年半		勞働者團體數調(月末現在)		年月日 報縣	
計合	業産	業職	別業産業職		計
			團體數	員數	
			執務心得第九十條(二)(三)ニ屬スル團體		
			男	女	計
			同上(二)(三)ニ屬セザル團體		
			男	女	計

注意

- 一、「(二)(三)ニ屬セザル團體」欄ニハ共濟、修養、親睦、研究等ヲ目的トスルモノヲ記載スルコト
- 二、同盟(聯合)體ハ加盟團體ノ外ニ別ニ一個ノ團體トシテ計上スルコト
- 三、支部ハ團體數ニ計上セザルコト

第十二號様式

報年半		事業主團體調(月末現在)		年月日 報縣		
名稱、所在地 及創立年月日	加入人員數	支部數	職業業又別ハ	關係勞働名	主幹者氏名	趣旨又ハ綱領

注意

- 一、聯合(同盟)團體ニ付テモ本表ニ依リ作成スルコト
- 二、聯合(同盟)體ノ團體ハ必ず一箇所ニ順次記載スルコト
- 三、「職業又ハ產業別」欄ノ記載ニ付テハ第四十八號様式ヲ注意参照ノコト
- 四、「關係勞働團體名」欄ニハ團體協約締結其他關係ヲ有スルモノヲ記載スルコト

第十三號様式

報年半		産業別労働者数調(月末現在)										年 月 日 報 縣	
種 別	官 營	民 營		民 營		民 營		民 營		民 營		計	計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
工場													
其他													
運輸、交通													
土木建築業													
瓦斯、電氣													
水道業													
農業													
水産業													
日傭労働者													
計													

注意 一、労働者トハ主トシテ筋肉労働ニ従事シ労働賃銀ニヨリ生活スル者ヲ云フ
 二、高級船員、會計事務員、タイピスト、電話交換手、看護婦、商業並ニ家庭使用人、小使、小作人等ハ之ヲ含まズ
 三、産業別分類ハ産業分類表ニ依ルコト(執務心得末尾ニアリ)
 四、各産業労働者ハ主トシテ常備的性質ヲ有スルモノヲ記入スルコト
 五、倉庫業ニ従事スル労働者ハ運輸、交通、通信業欄ニ計上スルコト

第十四號様式

報年半		主要農民組合現勢調(月末現在)										年 月 日 報 縣	
名 稱	所 務 地 所	中心人物		所屬支部名		支部員數		支部中心人物		地域組織		備 考	
		何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々		
大日本農民組合	何郡何村何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何		
何々府縣聯合會	何々	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何		
何々組合	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何		
何々組合	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何		
何々組合	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何		
何々組合	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何		
昭 和 何 年 何 月 創 立													
昭 和 何 年 何 月 創 立													
昭 和 何 年 何 月 創 立													

注 意

一、本調ハ全國的組織ノ組合(其ノ組織ニ府縣以上ニ渉ルモノヲ謂フ)ハ總テ之ヲ掲記スルコト
 二、本調ニハ前號ノ外一府縣内ノミニ組織ヲ有スル組合ニシテ其ノ組合員二百名以上ノモノハ之ヲ掲記スルコト
 三、府縣聯合會ニ所屬セズ本部ニ直屬スルモノハ其ノ旨備考欄ニ附記スルコト
 四、青年部、婦人部又ハ少年部等ノ設アルモノハ支部ニ準ジ掲記シ備考欄ニ其ノ本部、府縣聯合會ハ支部ノ何レニ所屬スルモノナルヤヲ明記スルコト

第十五號様式

報年半					農民團體數及加盟員數調（月末現在）		年 月 日 報 縣	
種 別	團 體 數	加 盟 員 數	地 主 團 體	土 地 會 社	小 作 人 團 體	小 地 作 人 協 調 的 團 體	應	府 日 報 縣

注 意

- 一、小作人團體數及加盟員數欄ニハ單獨組合ハ勿論全國的組織ノ組合ヲモ計上スルコト
- 二、小作人團體中聯合會組織ノモノハ支部ヲ一團體トシテ計上スルコト
- 三、地主團體、地主小作人協調的團體ニ付テモ右ニ同ジ
- 四、土地會社ハ小作人ニ對抗的性質ヲ有スルモノヲ掲記シ加盟員數ニハ關係地主數ヲ計上スルコト

第十六號様式

報年半					土地立入禁止、立毛差押其ノ他執行調（自 至 月 月）			年 月 日 報 縣	
種 別	爭 議 發 生 場 所	關 係 者 數		執 行 面 積 又 ハ 差 押 物 件 見 積 價 格	執 行 狀 況	執 行 月 日	終 結 狀 況	應	府 日 報 縣
		地 主	小 作 人						

注 意

- 一、本調ハ土地立入禁止假處分、立毛差押處分、動産不動産差押處分ニ關スルモノニシテ、種別欄ハ以上ノ區別ニヨリ記入スルコト
- 二、土地立入禁止假處分及立毛差押處分ニ付テハ其執行面積及田畑等ノ種別、動産不動産差押處分ニ付テハ差押物件ノ見積價格ヲ記入スルコト
- 三、其期間中ニ終結セザルモノハ終結ノ時ニ其ノ狀況ヲ報告スルコト

第二十號様式

報年		學内左翼團體調(年末現在)		年月日		府日		報縣	
學校名	團體名稱	創立年月日	活動概況	備考	備考	備考	備考	備考	備考

注意

- 一、既に檢舉シ組織破壊セルモノハ其旨備考欄ニ記入スルコト
- 二、創立年月日不明ノモノハ不明ノ儘報告スルコト
- 三、現在左翼組織ニハ非ザルモ將來左翼組織ニ發展ノ可能性アルモノモ調査シ、其旨備考欄ニ記入スルコト

第二十一號様式

報年		學生生徒ノ左翼運動關係檢舉者調(年中)		年月日		府日		報縣	
學校名	檢舉人員數	治安維持法違反	其他	學校處分	學校處分	學校處分	學校處分	學校處分	學校處分
		起訴 留保 起訴 起訴 釋放 取調中	起訴 留保 起訴 起訴 釋放 取調中	放校 退學 停學 調戒					

注意

- 一、本調ハ檢舉取調ノ當時在學生タリシ者ノミニ付作成スルコト
- 二、「其他」ノ欄ニハ社會運動ニ關係シテ治安維持法以外ノ法令(例 治安警察法、出版法、新聞紙法等)違反トシテ檢舉シタル者ヲ記入スルモノトス
- 三、學校處分ハ學校ニヨリ處分形式異ルトコロアラシモ凡ソ所定欄ニ該當スルト思料セラルル所ニ記入スルコト
- 四、前年度檢舉取調中ニシテ其年度ニ入り處分決定シタル者ハ△印ヲ付シ所定ノ欄ニ記入スルコト
- 五、朝鮮人(臺灣人)留學生ニ付テハ(内鮮(臺)何名)トシテ重記スルコト

第二十二號様式

報年		思想團體調(年末現在)					年月日		報縣	
名	稱	所屬員 種類及 數ノ概	創立 年月日	思想傾 向並系 統	綱領、主 旨	機關紙名 及其ノ發 行狀況	主タル活 動	中心人 物	他團體ト ノ關係	影響下(文化團 體ニ付テハサ クル)人員數

注意

- 一、本調ハ合法非合法ヲ問ハズ、プロレタリア文化團體(文學、演劇、映畫、美術、エスベランチスト、唯物論研究
其ノ他地方的文化團體等)、日本反帝同盟、日本赤色救援會、日本勞農救援會準備會、日本無產者醫藥同盟(無
産者診療所ヲ含ム)等各種ノ思想團體ヲ調査スルコト
- 二、本、支部及支部協議會(準備會ヲ含ム)ノ調査ニ止メ地區ハ調査スルニ及ハズ、地區ノ員數ハ支部若ハ協議會ノ
員數欄ニ計上スルコト、但シ地區ノミ存在シ支部未ダ確立セザル所ニ於テハ其ノ地區ヲ調査スルコト
- 三、中心人物ハ其ノ役員名判明セルモノハ氏名ノ上部ニ肩書トシテ之ヲ記入スルコト

第二十三號様式

報年		國家(農本)主義思想團體調(年末現在)					年月日		報縣		
系	統	名	稱	事務所 創立年月日	中心人 物	團體員 數	機關紙及 其ノ發行 狀況	主	要	行	動

注意

- 本調ハ
- (1) 組織數廳府縣ニ互ル主要團體
- (2) 地方的團體
- (3) 塾及道場
- (4) 學生團體
- (5) 農本主義團體

ノ類別ニ依リ夫々別紙ニ記載スルコト

第二編 特別高等警察執務心得

第二十六號様式

報年		特高關係政黨(又ハ團體)所屬議員數調(年末現在)								年	月	日	報			
政黨(團體)別	種別	貴衆議		道府縣議		市議		區議		町議		村議		農會議		備考
		議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員		

注意

- 一、本調ニ於ケル區會議員ハ市制第六條ニ依ル區ノ議員ヲ謂フ
- 二、備考欄ニハ特ニ地方の特色アルモノノ如キヲ記入スルコト
- 三、朝鮮人(臺灣人)ニ付テハ別紙ニ認ムルコト
- 四、所屬政黨アルモノハ政黨名ノミ記載シ全然政黨關係ナキモノノミ團體名ヲ記載スルコト

第二十七號様式

報年		國家主義ヲ標榜スル犯罪檢舉調(年中)				年	月	日	報
月	日	團體名	氏名	罪名	件數	人員	處分	備考	
一、三〇		何々會	何	恐喝	五	二	懲役六月	控訴中	
		何々黨	外二名	暴力行爲	三	三	懲役二月		
二、一七		自稱何々黨	何	恐喝	一	一	審理中		
二、一九		何々會	何	強談威迫	一	二	拘留五日		
二、二二		ナシ	何	脅迫	一	一	懲役二月		

注意

- 一、本調ニハ國家主義團體員ガ國家主義ヲ標榜シテ爲セル犯罪及團體員ニ非ズシテ愛國ノ名ノ下ニ爲セル犯罪ヲ洩レナク記載スルコト
- 二、本調ニハ送局セルモノヲ記載シ、違警罪ニアリテハ處罰ヲ爲シタルモノノミヲ掲ゲルコト

報 年		消 費 組 合 調 (年 末 現 在)		年 月 日 報 縣	
系統	組合名稱、所在地及創立年月日	機關紙名及發行部數	資本金	組合員數(內鮮人數)	中心人物
					經營活動
					政黨、労働農民團體ノ經營又ハ支持連絡關係
					備 考

注 意

- 一、系統欄ニハ元日本消費組合聯盟、消費組合聯合會、學生消費組合等ノ名稱ヲ記載シ且正式加盟ノモノハ「加盟」連絡取引關係ニアルモノハ「系」ト記載ノコト
- 二、地方聯合會又ハ縣聯合會ニアリテハ加盟組合ヲ次欄以下ニ各別ニ記載シ一纏トナシ置クコト
- 三、經營活動ハ取扱品ノ概要及一年間ノ賣上高、損益額ヲ記載スルコト
- 四、産業組合法ニ依リ組織セラレタルモノハ其ノ旨備考欄ニ記載スルコト

第三十三號樣式

水平關係差別事件調 (年中)

報 年		水 平 關 係 差 別 事 件 調 (年 中)		年 月 日 報 縣							
計	其他	待 遇	文 書	言 動	態 樣	發 生 件 數	解 決 態 樣	解 決 件 數	未 解 決 件 數	司 法 處 分 件 數	
											自 然 消 滅
						全 國 水 平 社 日 本 水 平 社 其 他		融 和 團 體 其 他		團 體 ノ 介 入 ナ キ モ ノ	
										計	

備 考

關係水平團體名ハ當時ノ著名ナル中央團體ヲ掲ゲルモノトス

第二編 特別高等警察執務心得

第三十九號様式

報年		朝鮮人教育程度調 (年末現在)										年月日 府 報 縣					
計	人	學齡兒童中ノ未就學者	文盲者	小學校程度	中等學校程度	專門學校又ハ高等學校程度	大學程度	教育程度		同稍解スル者	同全ク解セザル者	計		備考			
								國語解否	國語ニ精通スル者			男	女		男	女	

第四十號様式

報年		朝鮮人(臺灣人)出身道(州)別調 (年末現在)										年月日 府 報 縣					
計	人	道(州)別	種別	種別	人員		計	備考	備考	備考	備考	備考	備考				
					男	女											

注意
朝鮮人ト臺灣人トハ別紙ニ認ムルコト

力 勢 體 團							
略 月 生 職 氏 住 者 主 歷 及 年 業 名 所 ノ 幹							

數員ノ其及種業ノ員體團		(トノ添別等規會)領綱ハ又旨趣 コ附紙ハ約則
		類 種 ノ 業 事

(本省申達不要)

事務所				名					應府縣
在 地	所 所	所 所	事 務	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	改 稱	改 稱	改 稱	改 稱	改 稱	創 立 年 月 日
別 業 又 業 業	地 域 別	部	支	名 稱				所 在 地	設 立 年 月 日

勞働團體名簿

應府縣

團體員所屬工場、山嶺等ノ名稱及團體員數

會社				基 金
理 事	基 金	計 劃	會 社	
				一 ヶ 月 間 ノ 收 入 概 要
				同 上 支 出 ノ 概 要
				維 持 方 法

類 種 / 業 事	(トノ添別等宜規會)領綱ハ又旨趣 コ附紙ハ言約則				
	力 勢 / 體 團	係 關 黨 政	誌 雜、聞 新 關 機		
題 名			發 行 期 日	行 一 回 / 部 數 發	定 一 部 價 /

主ナル役員ノ住所、名氏、生年月、職業、略歴

主ナル役員ノ住所、名氏、生年月、職業、略歴
<p>(一) 警視總監 大曾 文 彦 (昭和十一年一月一日生、東京府大田区、東京府立第一高等学校卒業、大正十一年一月一日、警視總監に就任、昭和十一年一月一日、退任)</p> <p>(二) 警視正總監 大曾 文 彦 (昭和十一年一月一日生、東京府大田区、東京府立第一高等学校卒業、大正十一年一月一日、警視總監に就任、昭和十一年一月一日、退任)</p> <p>(三) 警視副總監 大曾 文 彦 (昭和十一年一月一日生、東京府大田区、東京府立第一高等学校卒業、大正十一年一月一日、警視總監に就任、昭和十一年一月一日、退任)</p> <p>(四) 警視總監 大曾 文 彦 (昭和十一年一月一日生、東京府大田区、東京府立第一高等学校卒業、大正十一年一月一日、警視總監に就任、昭和十一年一月一日、退任)</p> <p>(五) 警視總監 大曾 文 彦 (昭和十一年一月一日生、東京府大田区、東京府立第一高等学校卒業、大正十一年一月一日、警視總監に就任、昭和十一年一月一日、退任)</p>

行	
一、(團體員教養ノ目的ヲ以テ何年何月何日ヨリ何所ニ於テ何某ヲ講師トシ勞働講習會ヲ開催、出席者幹部又ハ平會員何名)	
一、(何年何月何日所屬工場又ハ鑛山ニ對シ貸銀値上外何項ノ要求ヲ提出シ役員何某實行委員トナリ其ノ全部又ハ一部ヲ要求セシム)	
一、(何年何月何日ヨリ組合員ノ醸出ニ依リ又ハ組合員ノミヲ以テ株式會社ヲ組織シ印刷業ヲ直營ス)	
一、(何年何月何日大會又ハ幹部會ヲ開キ勞働運動上其ノ他ニ付何々ノ決議ヲ爲ス)	

(本欄ハ適宜伸縮スルコトヲ得)

注意

- 一、「支部」、「地域別」、「團體ノ勢力」ハ事業主團體ノ記載例ニ準ズルコト
- 二、「職業又ハ産業別」中
 - (一)「職業別」ニハ昭和五年十二月二十七日內閣訓令第三號ノ小分類ニ依ル職業ヲ同ジクスルモノヲ以テ組織スルモノ、例ヘバ鍛冶工ヲ以テ組織スル「鍛冶工組合」、鑄物工ヲ以テ組織スル「鑄物工組合」、造船工ヲ以テ組織スル「造船工組合」ノ如キモノヲ記載スルコト
 - (二)「産業別」ニハ前號訓令ニ依ル職業ヲ異ニスルモノヲ以テ組織スルモノ、例ヘバ鍛冶工、鑄物工、造船工ヲ以テ組織スル組合ノ如キモノヲ記載スルコト
 - (三)右(一)及(二)ニ屬セザル團體アルトキハ「職業又ハ産業別」ニ具體的事實ヲ記載スルコト
- 三、團體員數ハ男女ニ區別シ記載スルコト

第五十號様式

(本省申達不要)

名		稱		事 務 所		地 所	
年	年	年	年	年	年	年	年
月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日
改稱	改稱	改稱	改稱	變更	變更	變更	變更
創 立 年 月 日	支 部	地 域 別	職 業 又 八 産 業 別				
名	稱	所 在 地	設 立 年 月 日				
應 府 縣							

(勞働) 團體 (聯合) 會 名 簿 (事業主) (同盟)

種類ノ業事	(トノ添別等宣規會)領綱ハ又旨趣 コ附紙ハ言約則		
力勢ノ體團	係關黨政	誌雜、聞新關機	
			題名
			發行期日
			發行部數ノ
			一部ノ定價

名體團盟加及數員會(盟同)合聯

名體團盟加及數員會(盟同)合聯		
理 經 計 會		
		基 金
		收一ヶ月間ノ 入概要
		概同上支出ノ 要
		維持方法

小作争議(發生經過)報告表

年月日 府 報 縣

要求事項	争議ノ發生ヲ見ルニ至リシ事情(原由)	争議ノ關係人	争議ノ關係地	争議發生ノ場所	發生年月日
				争議ノ種類及面積	終結年月日
従前ノ小作條件		地主 小作人	何畑田々		
解決條件					

争議ノ經過	及結果	備考 (犯罪關係 其ノ他)

注意

- 一、報告書ニハ發生、經過、解決ノ區別ヲ明記スルコト
- 二、要求事項ガ二以上アル場合ハ主タル要求ト從タル要求トヲ區別スルコト
- 三、要求事項若ハ解決條件タル小作料其ノ他ニ關シ數量、金額、割合等判明セルモノハ之ヲ示シ、成ルベク従前ノモノト比較スルコト
- 四、小作料ノ減額ヲ要求スルモノニ付テハ、其ノ年限又ハ永久減額等ノ區別ヲ記入スルコト
- 五、本表記載中複雑ニシテ該當欄ニ記載シ難キモノハ別添トスルモ支障ナシ

組織地區	色彩	所屬系統及加盟年月日	名 稱				特 高 關 係 政 黨 名 簿
			年 改 月 稱 日	年 改 月 稱 日	年 改 月 稱 日	年 創 月 立 日	
法 方 持 維		所 務 事				年 月 日 府 報 縣	
		基 金	會 費	年 移 月 轉 日	年 移 月 轉 日		年 移 月 轉 日

政 黨 員 種 類 及 員 數

年 次	文 持 組 合 種 別	政 黨 員 種 類 及 員 數						

連 絡 團 體 名										
										種 團 類 體
										名
										稱
										所 在 地
										種 團 類 體
										名
										稱
										所 在 地

支 部 分 會										
										名
										稱
										會 員 數
										事 務 所 所 在 地
										主 幹 者 ノ 役 名

要概及目種業事										關機部內黨政										
															決議機關					
															執行機關					
物 人 心 中 及 者 幹 主																				
																				住
																				所
																				氏 役
																				名 名
																				職 業
																				生 年 月

約 規 言 宜										張 主 領 綱										
																				紙關機準及紙關機
																				題
																				名
																				發 行 期 日
																				發 行 部 數

第五十八號様式

(本省申達不要)

成 構 合 組		紙 關 機		在 地 所 々 事 務		稱 名	
一 般 其 ノ 他	農 民 勞 働 者	農 民 組 合 員	勞 働 組 合 員	種 別 年 次 昭 和 年 末 昭 和 年 末 昭 和 年 末 昭 和 年 末	發 行 部 數	發 行 度 數	種 別 年 次 昭 和 年 末 昭 和 年 末 昭 和 年 末
事業狀況 加盟又ハ連 絡團體名				組織地域 ナリヤ 依ル 認可 組 合		創立年月日 支部分會又 ハ配給所	
損 賣 出 種 益 上 資 別 金 年 次 昭 和 年 末 昭 和 年 末 昭 和 年 末 昭 和 年 末				年 月 日 認 可		名 稱 所 在 地 設 立 年 月 日	

消 費 組 合 名 簿

廳 府 縣

主ナル役員ノ住所、名氏、生年月日、經歷										領 綱 旨 趣	
組合内ニ於ケル地位										約 規 言 宣	
本籍住所職											
業 氏 名										略	
生年月日											
略										歷	

事業進行動概要	
(本欄ハ適宜伸縮スルコトヲ得)	

注意

- 一、朝鮮人(臺灣人)團體トハ朝鮮人(臺灣人)ノミヲ以テ、若ハ主トシテ朝鮮人(臺灣人)ヲ以テ組織スル團體ヲ謂フ
- 二、本名簿ハ労働團體、思想團體、救濟團體、其ノ他朝鮮問題(臺灣問題)ニ關スル一切ノ團體ニ付作成スルコト
- 三、備考欄ニハ(イ)労働團體ナラバ所屬工場、會社名、稼働場所等ノ組織範圍(ロ)他團體トノ關係殊ニ支持政黨(ハ)其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記入スルコト
- 四、主義、綱領、宣言、規約長文ニ互リ該當欄ニ記入シ能ハザルトキハ別紙トシテ添附シ、其旨記入シ置クコト

第六十號様式

紙 關 機				種 類	會 員 數		所 務 事			名 稱		(何々) 團 體 名 簿	年 月 日 報 縣
印 刷 所	發 行 部 數	發 行 部 數	題 名		年 月 日 人 調	年 月 日 人 調	移 年 月 日 轉 日	移 年 月 日 轉 日	移 年 月 日 轉 日	改 年 月 日 稱 日	創 年 月 日 立 日		
月年調	月年調	月年調	月年調	年 月 日 人 調	年 月 日 人 調	年 月 日 人 調	年 月 日 人 調	年 月 日 人 調	年 月 日 稱 日	年 月 日 立 日			
月年調	月年調	月年調	月年調	地 所 會 部 本 在ノ分支		方 法	維 持	收 入	基 金				
月年調	月年調	月年調	月年調						改 年 月 日 稱 日	改 年 月 日 稱 日			

主要概況ノ主行動行並業事	

第六十一號様式

類似宗教團體名簿

年 月 日 報 縣

名稱	宗教派系統	祭祀スル神佛	神體	神寶	維持經營ノ方	事務所	開教年月日	布教ノ概況	教信徒數				機關紙
									年度	月	年	度	
	註 神道何々派ヨリ分派ス又ハ佛教何宗何派ノ流ヲ汲ム								年度	月	年	度	註 支部ニ在リテハ特ニ其ノ支部ニ於テ發行ノモ ノノミ掲記スルコト
									年度	月	年	度	
									年度	月	年	度	
									年度	月	年	度	

規 教 及 義 教		規 教 及 義 教		規 教 及 義 教	
<p>註 支部ニ在リテハ當該支部獨自ノ教義及教規ナキ限リ省略スルコト</p>	<p>支 部</p>	<p>規 則</p>	<p>教 義</p>	<p>規 則</p>	<p>教 義</p>
<p>支 部</p>	<p>規 則</p>	<p>教 義</p>	<p>規 則</p>	<p>教 義</p>	<p>規 則</p>

開 教 ノ 由 來 及 祖 師 之 經 歷

註 一、本部ニ在リテハ教團ノ本質ヲ知ルニ足ルベキ詳細正確ナル記載ニ努ムルコト
 二、支部ニ在リテハ當該支部獨自ノ開設由來及主幹者ノ經歷ニシテ特記スベキモノアル場合ノ外省略スルコトヲ得

支 部	規 則	教 義	規 則	教 義
支 部				
支 部				
支 部				
支 部				
支 部				

者 教 布 由 ル 来 ナ 主 ハ 又 部 幹	
ケル 園内ニ於 地位	住本
	所籍
	職 業
	氏 名
	年 齡
	略 歴

布 教 ノ 状 況

<p>註 一、警察取締ノ對象トナルベキ布教行爲(反國體の所説、豫言、虚説ノ流布又ハ獻金強要ノ治病行爲等)ヲ調査記録スルコト</p> <p>二、教團ノ一般の動向ヲ知ルニ足ルベキ事項ノ記述ニ努ムルコト</p> <p>三、時宜ニ依リテハ取締ニ對スル將來ノ方針、意見等ヲ附記スルコト</p>	<p>一、</p> <p>二、</p> <p>三、</p> <p>四、</p> <p>五、</p> <p>六、</p> <p>七、</p> <p>八、</p> <p>九、</p> <p>十、</p> <p>十一、</p> <p>十二、</p> <p>十三、</p> <p>十四、</p> <p>十五、</p> <p>十六、</p> <p>十七、</p> <p>十八、</p> <p>十九、</p> <p>二十、</p> <p>二十一、</p> <p>二十二、</p> <p>二十三、</p> <p>二十四、</p> <p>二十五、</p> <p>二十六、</p> <p>二十七、</p> <p>二十八、</p> <p>二十九、</p> <p>三十、</p> <p>三十一、</p> <p>三十二、</p> <p>三十三、</p> <p>三十四、</p> <p>三十五、</p> <p>三十六、</p> <p>三十七、</p> <p>三十八、</p> <p>三十九、</p> <p>四十、</p> <p>四十一、</p> <p>四十二、</p> <p>四十三、</p> <p>四十四、</p> <p>四十五、</p> <p>四十六、</p> <p>四十七、</p> <p>四十八、</p> <p>四十九、</p> <p>五十、</p> <p>五十一、</p> <p>五十二、</p> <p>五十三、</p> <p>五十四、</p> <p>五十五、</p> <p>五十六、</p> <p>五十七、</p> <p>五十八、</p> <p>五十九、</p> <p>六十、</p> <p>六十一、</p> <p>六十二、</p> <p>六十三、</p> <p>六十四、</p> <p>六十五、</p> <p>六十六、</p> <p>六十七、</p> <p>六十八、</p> <p>六十九、</p> <p>七十、</p> <p>七十一、</p> <p>七十二、</p> <p>七十三、</p> <p>七十四、</p> <p>七十五、</p> <p>七十六、</p> <p>七十七、</p> <p>七十八、</p> <p>七十九、</p> <p>八十、</p> <p>八十一、</p> <p>八十二、</p> <p>八十三、</p> <p>八十四、</p> <p>八十五、</p> <p>八十六、</p> <p>八十七、</p> <p>八十八、</p> <p>八十九、</p> <p>九十、</p> <p>九十一、</p> <p>九十二、</p> <p>九十三、</p> <p>九十四、</p> <p>九十五、</p> <p>九十六、</p> <p>九十七、</p> <p>九十八、</p> <p>九十九、</p> <p>百、</p>
---	--

第六十二號様式

治安維持法違反檢舉者調

年月日 報 府 縣

縣名	府名	氏名	年齢	年月日	檢舉日	犯罪被疑事實	本籍	團體關係(地位)	學歷	職業	備考

注意

- 一、本欄ニハ少クトモ犯罪アリト認メタルモノノミヲ記載シ參考人程度ノモノハ之ヲ除外スルコト
- 二、犯罪被疑事實ハ檢舉當時ノ見地ニ依リ組織内ノ地位其他運動ノ概況ヲ簡潔ニ記載スルコト
- 三、團體關係ハ檢舉當時ノ團體ヲ記載シ其ノ地位ヲモ併記スルコト
- 四、職業ハ檢舉當時ノ職業ヲ記載スルコト
- 五、年齢ハ檢舉當時ノ數ヘ年ヲ記載スルコト

(第十三號、第十八號様式)
ニ依ル報告作製等ノ參考

産業別分類表

一、工業

- (1) 窯業、土石加工業
瓦、土管製造。煉瓦製造。陶磁器、土器製造。硝子、硝子品製造。七寶燒、珐瑯品製造。セメント、石灰、石膏類製造。セメント品、人造石製造。其ノ他ノ土石類加工業。
- (2) 金屬工業
精鍊業。金屬壓延業。電線、電纜製造。鍛冶業。鑄造業。釘、鉄、針類製造。金屬薄板品製造。鋼索製造。針金細工。建築用家具用金屬製造。鍍金業。其ノ他ノ金屬工業。機械器具製造、裝置業
- (3) 金屬工用、木工用機械器具製造。採礦、選礦、精鍊用機械器具製造。紡績機械器具製造。農業用、土木建築用機械器具製造。銃砲、彈丸、水雷製造。原動機製造(汽機、瓦斯發生機ヲ含ミ電動機ヲ除ク)。電動機、電氣機械器具製造。電氣通信機械器具製造。電球製造。其ノ他ノ機械器具製造。電氣機械器具裝置。其ノ他ノ機械器具裝置。
- (4) 造船業、運搬用具製造業
造船業。鐵道軌道車輛製造。航空機製造。自動車、自動車轉車製造。自轉車製造。其ノ他ノ運搬用具製造。
- (5) 精巧工業
度量衡器、計測器、科學的機械器具製造。光學機械器具製造。醫療機械器具製造。樂器製造。時計製造。貴金屬、寶石、飾石細工。
- (6) 化學工業
藥品、賣藥、賣藥類似品製造。染料、顔料、塗料製造。肥料製造。火藥、其ノ他ノ發火物製造。燐寸製造。護謨、護謨品製造(護謨靴ヲ含ム)。セルロイド、セルロイド品製造。(セルロイド玩具ヲ含ム)。礦物油精製。動物油脂製造。石鹼、化粧品製造。木蠟、蠟製品製造。煉炭、煉炭製造。乾餾。其ノ他ノ化學工業。紡織工業
生絲製造。人造絹絲製造。眞綿製造。綿製造。絹絲紡績。毛絲紡績。麻絲紡績。綿絲紡績。捻絲業。麻絲雄絲返業。棉織物製造。毛織物製造。麻織物製造。綿織物製造。莫大小、莫大小品製造。絹物、組物類製造。網、網類製造(藥製品ヲ含マズ)。刺繡業。其ノ他ノ紡績、紡績品製造。漂白、精練、染色、捺染等ノ絲布加工、湯熨斗、燙拔、洗張、洗濯業。
- (7) 紡織工業

(8) 被服、身裝品製造業
 衣服裁縫業。帽子製造。足袋、シャツ、肩掛類製造。袋物製造。扇子、團扇、提燈、傘、合羽類製造。洋傘杖類製造。履物類製造。靴製造(護謨靴ヲ除ク)。其ノ他ノ身裝品製造。

(9) 紙工業、印刷業
 紙料、紙製造。紙製品製造。製版、印刷業。製木業、楳具業。寫眞業。

(10) 皮革、骨、羽毛品類製造
 皮革、振革、其ノ製品製造。骨、角、甲、牙、貝類細工。刷毛、其ノ他ノ羽毛品類製造。

(11) 木竹草蓆類ニ關スル製造業
 製材、合板製造。屋根板製造。建具、家具、指物類製造。裝置。樽、桶、木箱類製造。刳物、木地、曲物製造。漆器製造。疊表、花筵、蓆類製造。疊製造。蓆、麥稈、輕木、棕櫚細工、籠、行李類製造。其ノ他ノ木竹草蓆品製造。

(12) 製鹽業
 製鹽業。

(13) 飲食料品製造業
 精穀業。製粉。澱粉製造。麵類、麩、湯葉、豆腐、蒟蒻製造。菓子、麵麩、水飴製造。砂糖類製造。麴製造。味

噌、醬油、酢釀造。和酒釀造。麥酒釀造。其ノ他ノ酒類釀造。清涼飲料製造。罐詰、罐詰製造。屠畜、畜產品製造。鹽乾魚介類製造。海藻、其ノ他ノ水産食料品製造。蔬菜、果實類加工品製造。製茶業。製氷、冷蔵業。其ノ他ノ飲食料品製造。

(14) 其ノ他ノ工業
 映畫製作。防水布、油布、リノリウム類製造。文房具製造。運動用具、遊戯品、玩具製造(セルロイド玩具ヲ除ク)。造花、押繪類製造。印刷業。其ノ他ノ工業。

二、鑛業

(1) 採鑛業
 金屬鑛業。石炭鑛業(亞炭ヲ含ム)。石油鑛業。其ノ他ノ採鑛業。

(2) 土石採取業
 土石採取業。

三、運輸交通通信業
 鐵道、軌道、乗合自動車業。自動車運輸業。人力車業。其ノ他ノ車馬運輸業。船舶運輸業。航空業。ラヂオ放送業。其ノ他ノ運輸、通信業。運輸取扱業。

四、土木建築業
 土木建築ニ關スル業。

五、瓦斯、電氣、水道業

六、農業
 瓦斯發生、供給業。電力發生、供給業。水道業。

(1) 農耕
 農作。園藝。

(2) 畜産
 養畜。搾乳。養蠶、養蜂。

(3) 蠶業
 養蠶。蠶種製造。

(4) 其ノ他ノ農業
 林業

(5) 森林業。木炭製造。其ノ他ノ林産物業。

七、水産業
 (1) 漁業
 漁撈、採藻。魚介藻養殖。工船漁業。

八、日傭労働者

註
 本分類ハ昭和五年十二月二十七日内閣訓令第三號「國勢調査ノ結果表章ニ用フベキ産業分類及職業分類」ニ準ジ之ヲ作成セリ

第三編 通 謀 (附 參 考)